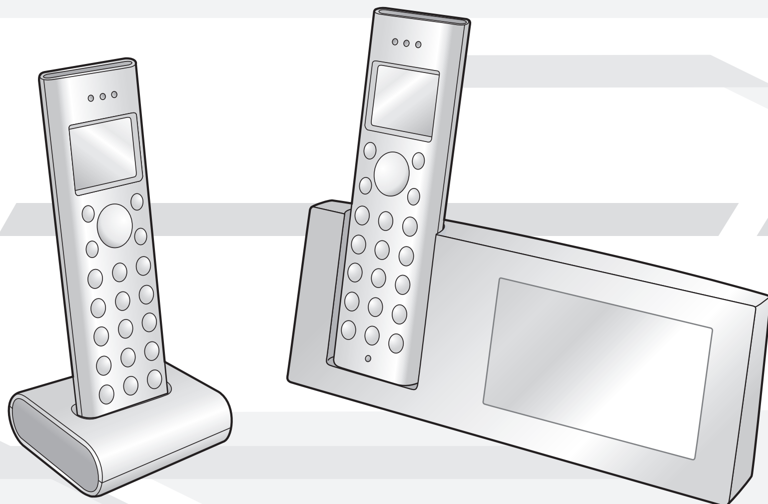
SHARP®

インテリアホン
取扱説明書

形　名

JD-4C1CL（子機 1台タイプ）

JD-4C1CW（子機 2台タイプ）



（JD-4C1CWのみ）

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。**ご使用の前に「安全に正しくお使いいただくために」（☞4〜6ページ）を必ずお読みください。**
- この取扱説明書は、いつでも見ることができる所に必ず保存してください。

ND ナンバー・ディスプレイ対応
ネーム・ディスプレイ / キャッチホン・ディスプレイ

※NTTへのサービス申し込みが必要です（有料）。

ナンバー・ディスプレイサービスの
お問い合わせは
局番なしの116番へ



Ni-MH

ニッケル水素電池の
リサイクルにご協力ください。

もくじ

ご参考に

お調べになりたい内容が、もくじから探しにくいときは、さくいん（☞73〜75ページ）をご覧になると見つかる場合があります。

＜お知らせ＞

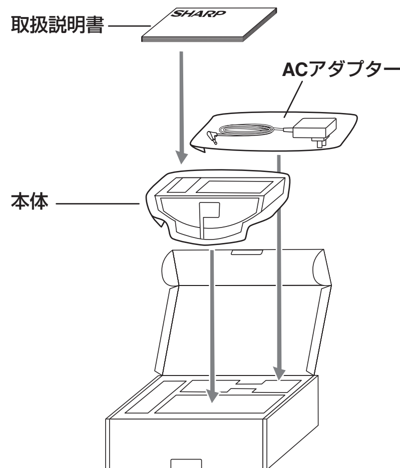
- この製品は、厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一不具合がありましたら、お買いあげの販売店またはシャープお客様ご相談窓口（☞72ページ）までご連絡ください。
- お客様または第三者がこの製品の使用を誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- この製品は使用誤りや静電気･電気的ノイズの影響を受けたとき、また故障・修理のときは記録内容が変化・消失する場合があります。

贈答用などで、あらかじめ「写真」や「電話帳」を登録してプレゼントするときは

本体にあらかじめ「写真」や「電話帳」を登録してプレゼントすると、プレゼントを受けた方は写真をフォトスライド（☞35ページ）で楽しんだり、フォト電話帳を使ってかんたんに電話をしたり（☞30ページ）することができます。

「写真」や「電話帳」の登録手順は以下をご覧ください：

①本体を取り出し、ACアダプターを接続する（☞14ページ）
（電話回線は接続しないでください）
②タッチパネルの確認をする（☞15ページ）
③ホームメニューが表示されるまで、画面（本体）を操作する
④電話帳を登録する（☞22ページ）
フォト電話帳に登録する（☞23ページ）
⑤フォトスライド用の写真を内部メモリーへ保存する（☞38ページ）
⑥デモ画像を消去する（☞19ページ）
⑦設定リセットをする（☞67ページ）
⑧本体を元の通りに梱包する



ご使用の前に

付属品の確認

次のものがすべてそろっているか、確認してください。もし足りない場合や違うものが入っているときは、お買いあげの販売店にご連絡ください。

本体1台	子機 JD-4C1CL：1台 JD-4C1CW：2台	充電器（子機用） JD-4C1CW：1個
充電池ふた（子機用） JD-4C1CL：1個 JD-4C1CW：2個	充電池（子機用） JD-4C1CL：1個 JD-4C1CW：2個 M-224	電話機コード （約1.5m）1本
本体用ACアダプター 1個 EP-D4C1	子機充電器用ACアダプター JD-4C1CW：1個 EP-DS05	メモリースティック用メモリーカードスロットカバー1個
● メモリーカードは付属していませんので、ご使用になるときは別途お買い求めください（☞39ページ）。		
取扱説明書（本書）※1冊		

※ 当商品は日本国内向けであり、日本語以外の説明書はございません。
This model is designed exclusively for Japan, with manuals in Japanese only.

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

図記号について

⚠ **危険**	人が死亡または重傷を負うおそれが高い内容を示しています。
⚠ **警告**	人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
⚠ **注意**	人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味



上の記号は、気をつける必要があることを表しています。



上の記号は、してはいけないことを表しています。



上の記号は、しなければならないことを表しています。

⚠危険

充電池の取り扱いについては、必ず次のことを守ってください。正しく使用しないと、充電池の液もれ・発熱・破裂により、やけどやけがの原因となります。



■ **充電池をネックレス･ヘアピンなど金属のものと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。**

■ **充電池の＋－端子を金属などで接触させないでください。**

■ **充電池の端子は＋－を逆にして接続しないでください。**

■ **充電池は、子機以外の機器には使用しないでください。**

■ **本体の充電部および専用の充電器以外では充電しないでください。**

■ **充電池ふたを取り付けるときは､充電池のコードをはさまないようにしてください。**

■ **充電池を水や火の中に捨てたり、加熱したりしないでください。**



■ **充電池は、専用のものを使用してください。**

■ **充電池の液が目に入ったときは、こすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。**
失明のおそれがあります。

⚠警告



■ **浴室など、湿気の多い場所では絶対に使用しないでください。**
絶縁が悪くなり火災・感電の原因になります。

■ **病院内などの使用を禁止された場所ではご使用にならないでください。**
電子機器や医療機器に影響を与え､事故の原因となることがあります。

■ **水や薬品などの液体をこぼさないでください｡ペットのいるご家庭では、ペットの尿にもご注意ください。**

■ **内部に金属物を入れないでください。**
火災･感電の原因になります。液体をこぼしたり、金属物が入った場合は､差し込みプラグを抜いてお買いあげの販売店へご相談ください。

■ **ご自身での分解や修理・改造は絶対にしないでください。**
火災･感電の原因になります。修理はお買いあげの販売店へご相談ください。



■ **充電池のビニールカバーを､はがしたり､傷を付けないでください。**
充電池の液が漏れたり、発熱・破裂させる原因になります。

■ **充電池を水や海水につけたり、ぬらしたりしないでください。**
充電池が発熱したり、サビの原因となります。

■ **ぬれた手で差し込みプラグの抜き差しはしないでください。**
感電の原因になります。

■ **AC アダプターや差し込みプラグを破損するようなことはしないでください。**
次のようなことはしないでください。
･傷つける　･無理に曲げる　･加工する　･無理にねじる
･熱器具に近づける　･重いものを載せる　･無理に引っぱる　･束ねる
傷んだまま使用すると、感電や火災の原因になります。ACアダプターや差し込みプラグの修理は､お買いあげの販売店へご相談ください。

■ **コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしないでください。**
たこ足配線などで定格を超えると､発熱による火災の原因になります。

■ **メモリーカードやメモリーカードのアダプターは乳幼児の手の届くところに置かないでください。**
誤って飲み込むおそれがあります。
万一飲み込んだ場合は、すぐに医師にご相談ください。

■ **この製品を持ち運ぶときは、落としたり、衝撃を与えたりしないようにしてください。**
けが・故障の原因になります。
万一、この製品を落としたり、破損した場合はお買いあげの販売店へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。



■ **万一、内部に水や異物などが入った場合は、差し込みプラグをコンセントから抜き、子機の充電池をはずしてお買いあげの販売店にご連絡ください。**
そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

■ **充電池の液が皮膚や衣服に付着したときは､すぐにきれいな水で洗い流してください。**
皮膚に障害を起こすことがあります。

■ **差し込みプラグは根元まで確実に差し込んでください。**
感電や発熱による火災の原因になります。傷んだプラグ･ゆるんだコンセントは使用しないでください。



■ **差し込みプラグを抜き差しするときは本体（金属でない部分）を持ってください。**
感電の原因になります。

■ **この製品は国内電源仕様です。必ず家庭用電源電圧（交流100V）に接続してください。**
海外や交流100V以外の電源電圧で使用すると、火災や感電の原因になります。

■ **雷が鳴り始めたら、安全のため早めに差し込みプラグをコンセントから抜いてください。**
火災・感電・故障の原因になります。

■ **煙・異臭・異音が出たり、落下・破損したりした場合は使用を中止してください。**
火災・感電の原因になります。差し込みプラグを抜いてお買いあげの販売店へご相談ください。

⚠注意



■ **水平でない場所や振動の激しい場所には置かないでください。**
落下により破損・けがの原因になることがあります。

■ **暑い場所や直接日光のあたるところ、暖房機の近くには置かないでください。**
熱がこもり、火災の原因になることがあります。

■ **高級家具やピアノなどの上に置かないでください。**
ゴム足の形が付くことがあります。

■ **すべりやすい場所に置かないでください。**
操作中に本体が移動することがあります。

■ **充電器や充電部を布や布団でおおったり、つつんだりしないでください。**
熱がこもり、火災の原因になることがあります。

■ **湿気や湯気・油煙・ホコリの多い場所では使用しないでください。**
火災・感電・故障の原因になることがあります。

■ **充電器や充電部の上に、コインなどの金属を置かないでください。**
やけど、けがの原因になることがあります。

■ **本機の温度の高い部分に長時間触れないようにご注意ください。**
低温やけどの原因になることがあります。

■ **火気や熱器具に近づけないでください。**
変形や故障、火災の原因になることがあります。



■ **充電池は、幼児の手の届かないところに保管してください。**

■ **点検・清掃（お手入れ）は、必ず差し込みプラグをコンセントから抜いて（熱くなるものは冷えてから）行ってください。**
感電やけが（やけど）の原因になることがあります。



■ **風通しの悪いところや、じゅうたんなどの上に置かないでください。**
通気孔をふさぎ本体の放熱が悪くなり、じゅうたんなどの変色、火災の原因になることがあります。



■ **メモリーカードスロットカバーや充電池ふたを閉めるときに、指などをはさまないように注意してください。**
けがの原因になることがあります。

■ ACアダプターについてのご注意

必ず付属のACアダプター（JEITA規格、極性統一形プラグ付）をお使いください。付属品以外のACアダプターをお使いになると故障する原因となることがあります。
JD-4C1CWには、ACアダプターが２個同梱されています。
必ず本体には本体用、子機充電器には子機充電器用のACアダプターをご使用ください。誤って接続されると故障の原因となることがあります。

- 室内専用です。
- 本体へ、ACアダプターの接続プラグをしっかり差し込んでください。
- ACアダプターは、本製品以外には使用しないでください。
- 本体からACアダプターのコードを抜くときは、接続プラグを持って抜いてください（コードを引っぱらないでください）。
- 使用中、ACアダプターが熱くなることがありますが故障ではありません。
- 分解したりしないでください。危険です。
- 高温多湿の所では使用しないでください。
- 落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
- 内部で発振音がすることがありますが、異常ではありません。
- ラジオの近くで使用すると、雑音が入る場合がありますので、離してお使いください。

本機の取り扱いについて

■ **本体と子機の間に障害物のある場所で使わない**
本体と子機の間に障害物（金属製のドア、鉄筋コンクリート、鉄骨、モルタル壁、金属線入りのガラス、断熱材など）があると、電波を通しにくくなるため、電波の届く距離が短くなることがあります。

■ **子機の使用範囲を確かめる**
電波の届く距離は、周囲の環境によっても異なりますが、直線見通し距離で半径約100ｍです。
本体と子機を別の階や別棟に設置したときは、子機の電話がつながりにくくなったり、通話中の雑音やとぎれの原因になることがあります。

■ **本機を設置するときは**
電波干渉によって、雑音が入るなどの悪影響が出たり、他の無線機器に障害を与えたりすることがあります。**電波干渉を防ぐために、下記の機器からは、本体・子機とも約３m以上離してください。**
●電子レンジ ●無線LAN機器（ルーター・AV機器・防犯機器など）
●ワイヤレスAV機器（テレビ・ステレオ・パソコンなど）
●ゲーム機のワイヤレスコントローラー
●万引き防止システム（書店やCDショップなど）
●アマチュア無線局 ●工場や倉庫などの物流管理システム
●鉄道車両や緊急車両の識別システム ●マイクロ波治療器
●2.4GHzコードレス電話機
その他、Bluetooth™対応機器やVICS（道路交通情報通信システム）など

また、同じ室内に複数台の2.4GHzコードレス電話機を設置しないでください。電波干渉によって、子機の通話に雑音が入ったり、通話中に音声がとぎれたりすることがあります。

■ **子機はいつも充電部に戻しておく**
充電のしすぎによって、故障することはありません。正常に充電されるよう子機を充電部に確実に戻してください。

■ **子機の電波について**
子機は、2.4〜2.4835GHzの全帯域を使用する無線設備です
移動体識別装置の帯域が回避できません。
変調方式：FH-SS方式 与干渉距離：80m
本機には、それを示すマークが貼付されています。

2.4FH8

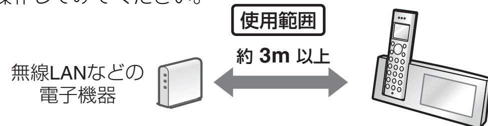
本機の使用周波数に関わるご注意
本機の使用周波数帯では、以下の機器や設備が運用されています。
●電子レンジ、産業・科学・医療用機器など
●工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）
●特定小電力無線局（免許を要しない無線局）
●アマチュア無線局（免許を要する無線局）
・本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
・万一、本機から移動体識別用の構内無線局、または特定小電力無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合には、お客様ご相談窓口（フリーダイヤル 0120-663-700）にご連絡ください。
●その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、お客様ご相談窓口（フリーダイヤル 0120-663-700）にご連絡ください。

■ **“傍受”にご注意ください**
本機は、子機での通話にデジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を使用している関係上、第三者が故意に傍受するケースも考えられます。

■ **受話口やスピーカーの穴をふさがない**
受話口や本体や子機のスピーカーの穴をふさぐと音が聞こえにくくなります。
■ **送話口（マイク）をふさがない**
こちらの声が相手の方に聞こえにくくなります。

■ 電波雑音にご注意ください

テレビ・ラジオなどの電気機器の近くに本機を設置すると、雑音や受信障害の原因になったり、特定チャンネルでテレビ画面が乱れることがあります。また、AV・OA機器などの近くに本機を設置すると、電波雑音の影響を受けて子機の着信音が鳴らないことがあります。
これらの機器からは3m以上離すか、本体を別の電源コンセントに接続して操作してみてください。



■ 子機に雑音が入ることがあります

- 磁気や蛍光灯などの電気雑音の影響を受けると、通話中に声がとぎれたり、通話できなくなることがあります。
- 本機の近くに、ACアダプター・充電器・他の機器の電源コードなどを近づけると、声がとぎれたり聞き取りにくくなる場合がありますので、離してください。
- 本機の近くに携帯電話の充電器やACアダプターを置くと、声がとぎれたり着信音が鳴らないことがありますので、離してください。
また、本体や充電器とは別の電源コンセントに接続してください。
- 動きながら通話したり、自動車やバイクが近くを通ると、声がとぎれたり雑音が入ることがあります。設置場所を変えてみてください。
- 補聴器をお使いの場合、種類によっては通話中に雑音が入ることがあります。
- 初めてお使いになるときや本体の電源を入れ直した後などでは、通話中に音質を適切にする設定が行われるため、しばらく通話音量が不安定になることがあります。そのままお使いいただくとまもなく安定します。

■ 取り扱いについて

ご近所で子機（コードレス電話機）が使われているときは、正しく動作しないことがあります。

■ 使用中に温かくなることがあります

本体の背面や側面、充電中の子機が少し温かくなることがありますが、故障ではありません。

■ タッチパネルの取り扱いについて

本体の液晶ディスプレイはタッチパネルになっています。以下の内容を守ってお使いください。

- 先端のとがったものや硬いもの、爪で操作しないでください。傷が付くことがあります。操作するときは、指で触れてください。
- 強く押さえないでください。破損することがあります。
- 指紋などが付いたときは、眼鏡ふきなどの乾いた柔らかい布で清掃してください。傷が付くことがありますので、お手入れに目の粗い布は使用しないでください。

■ ご使用にあたってのお願い

この製品のご使用にあたって、NTTのレンタル電話機が不要となる場合は、NTTへご連絡ください。ご連絡いただいた日をもって、
「機器使用料」は、不要 となります。
詳しくは、**局番なしの116番（無料）**へお問い合わせください。

■ この装置について

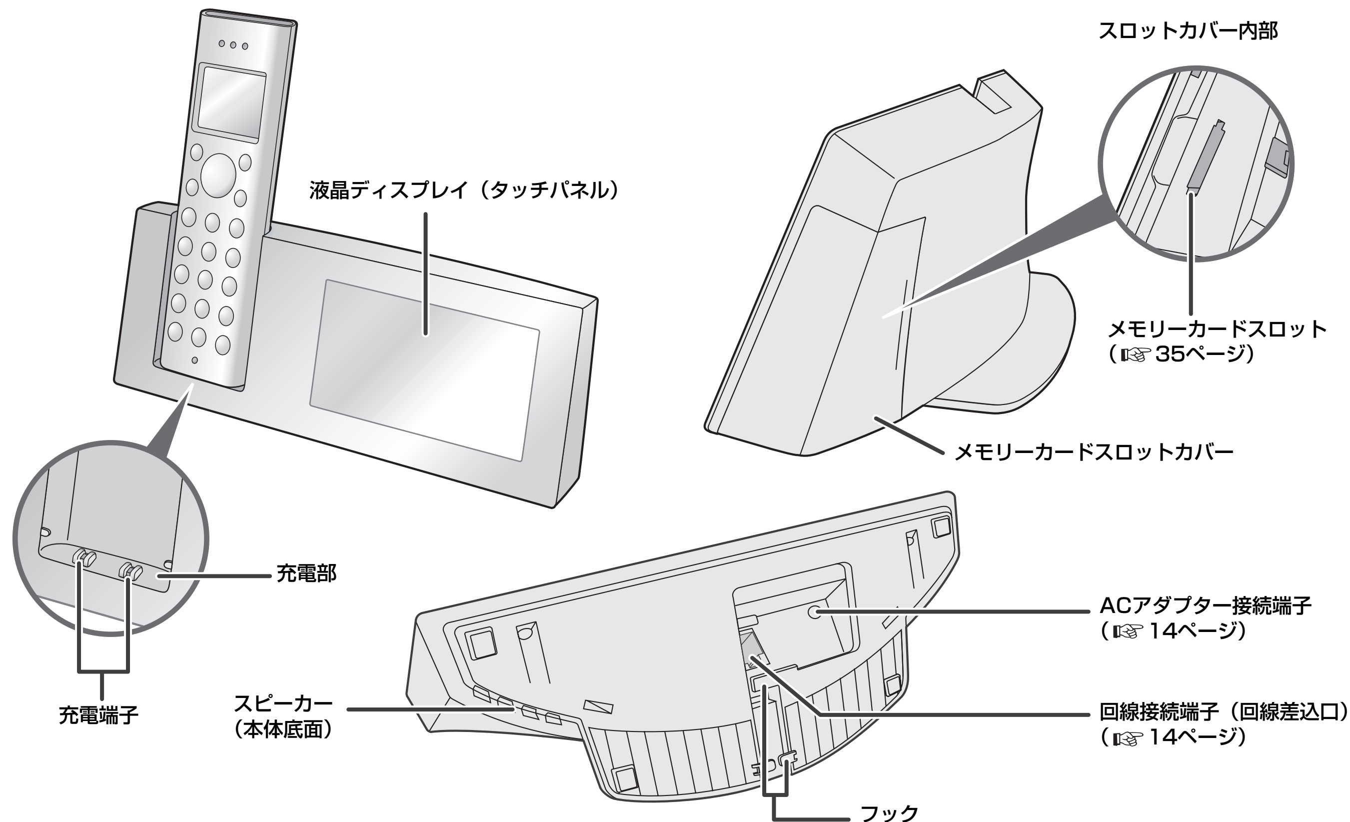
この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。 VCCI-B

■ 商標について

- SDメモリーカードはパナソニック株式会社、米国サンディスク社、株式会社東芝の商標です。
- miniSD™、microSD™はSDアソシエーションの商標です。
- メモリースティックはソニー株式会社の商標です。
- その他、本書に記載されている会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。

この製品を使用できるのは、日本国内のみです。規格などが異なるため海外では使用できません。
This machine is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

本体各部のなまえ

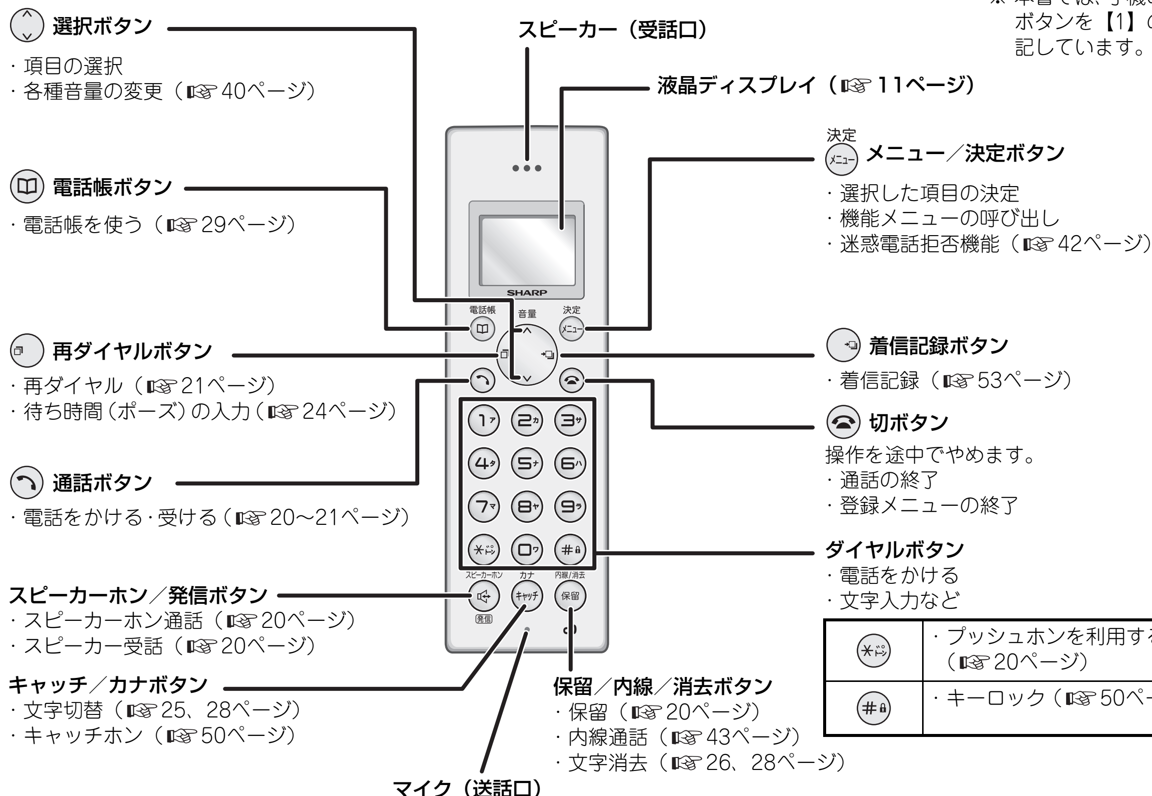


液晶ディスプレイ（タッチパネル）
スロットカバー内部
メモリーカードスロット
（☞35ページ）
メモリーカードスロットカバー
充電部
充電端子
スピーカー
（本体底面）
ACアダプター接続端子
（☞14ページ）
回線接続端子（回線差込口）
（☞14ページ）
フック

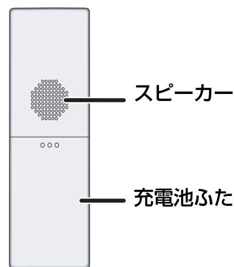
子機各部のなまえ

[子機前面]

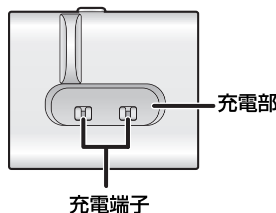
※ 本書では、子機のダイヤルボタンを【1】のように表記しています。



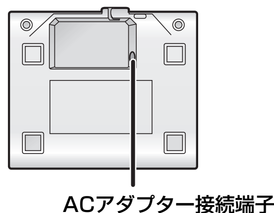
[子機背面]



[充電器上面]

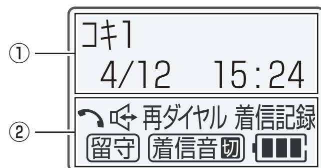


[充電器底面]



液晶ディスプレイ

[ディスプレイ]（バックライト付）



※ 図は説明用です。すべて一度に表示されることはありません。

① **文字表示部**

待受画面（何も操作していない状態の画面）では、子機番号または使用者名、日付と時刻を表示します。
また、機能メニューでは設定項目、ダイヤル時は電話番号、通話中は通話時間などを表示します。

② **設定状態表示部**

機能の状態などをマークで表示します。

	を押すと表示します。
	を押すと表示します。 録音や応答メッセージの再生時は と表示されます。
再ダイヤル	再ダイヤルの使用中に表示します。
着信記録	着信記録の使用中に表示します。
留守	留守番電話に設定しているときに表示します（☞32ページ）。
着信音切	着信音を〔キリ〕に設定しているときに表示します（☞40ページ）。
	充電池の充電残量を表示します。

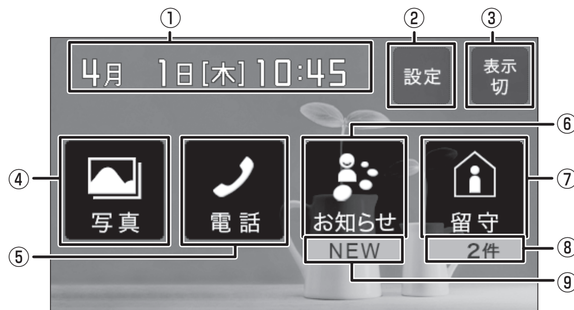
基本的な操作のしかた

本体では、液晶ディスプレイの表示にタッチして（触れて）操作します（子機使用中は操作できない場合があります）。

※ 本書中で［フォトスライド］のように［］付きで表記している名称は、本体の画面に表示されるキーやアイコンを示しています。

ホームメニュー画面について

ホームメニューは、下記のように表示されます。



① 日時表示
登録された日時が表示されます。
アラームを設定すると、日時の右側にアラームアイコンが表示されます。

② ［設定］
タッチすると、各種設定画面が表示されます。

③ ［表示切］
タッチすると、画面が消灯します。

④ ［写真］
タッチすると、写真メニューが表示されます。
- 写真を一覧表示する（☞36ページ）
- 写真を一覧から選んで1枚ずつ表示する（☞36ページ）
- フォトスライドをはじめる（☞37ページ）
- 内部メモリーに写真データをコピーする（☞38ページ）

⑤ ［電話］
タッチすると、前回利用した電話の画面が表示されます。
- 他の方法で電話をかけたいときは（［表示切替］について ☞右記）

⑥ ［お知らせ］
タッチすると、お知らせ一覧を表示します。
- お知らせの一覧を表示する（お知らせ）（☞40ページ）

⑦ ［留守］／［留守中］
タッチすると、留守設定を切り替えます。留守設定していないときは［留守］、留守設定しているときは［留守中］と表示されます。
未再生のメッセージがあるときに留守設定を解除すると、メッセージ一覧を表示して連続再生します。

⑧ メッセージ件数表示
未再生のメッセージの件数が表示されます。

⑨ NEWマーク
お知らせがあるときにNEWと表示されます。お知らせの一覧を表示すると、NEWの表示が消えます。

■ ホームメニュー画面や1つ前の画面に戻る

画面の右上に表示される以下のキーをタッチしてください。
［ホーム］：ホームメニュー画面に戻ります。
［戻る］：1つ前の画面や一覧表示の画面に戻ります。

■ 操作を途中でやめる

画面の右上に表示される［ホーム］、［戻る］、［キャンセル］のいずれかをタッチしてください。

ガイダンス表示について



新着のメッセージや着信があると、フォトスライド中にガイダンスが表示されます。「メッセージがあります」などが表示されているとき、お知らせ一覧やそれぞれの確認画面で内容を確認すると表示が消えます。

[表示切替] について

ホームメニューで［電話］をタッチすると、画面の右上に［表示切替］が表示されます。
［表示切替］をタッチすると、切替メニューが表示され、画面を切り替えることができます。

項目を選択する

選択したい項目のアイコンや写真をタッチすると次の画面を表示します。



複数の項目を選択する

選択したい項目をタッチすると、チェックマークが付いて選択された状態になります。
もう一度タッチするとチェックマークが外れ、選択が解除されます。



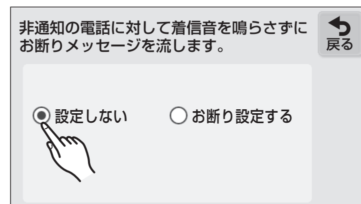
一覧表示画面や設定画面では、他にもデータや設定項目がある場合、前ページ／次ページキー（ ∧ ／ ∨ ）が表示されます。ページを移動しても選択は保持されています。

項目を設定する

設定画面では、以下のように設定します。

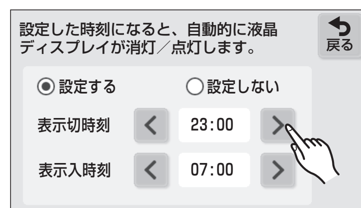
設定値の前に○が付いている場合

現在設定されている値に ◉ が付いています。設定したい○をタッチして、◉ にしてください。



設定値キーの前後に ＜／＞ が付いている場合

現在の設定値がキーに表示されます。＜ または ＞ をタッチして、設定値を変更してください。

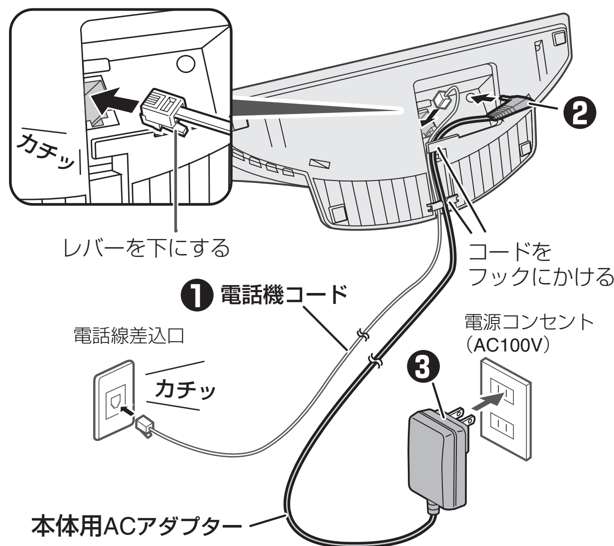


本体を接続する

STEP1 本体を接続する

1 **本体底面の接続部（☞9ページ）に電話機コードを接続したあと（❶）、本体用ACアダプターを❷❸の順に接続する**

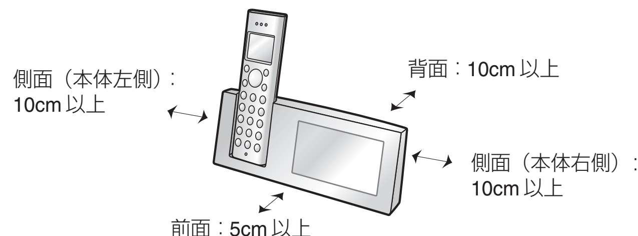
必ず電話機コードをACアダプターより先に接続してください。順序を変えると、電話回線（ダイヤル／プッシュ）の種別が正しく設定されないことがあります。



ひかり電話などの光回線やADSL、IP電話などをお使いの場合は接続方法が異なりますので、詳しくは、契約電話会社にお問い合わせください。

■ 設置について

本機の操作、日常点検などの作業を行うために、下図のような設置スペースを確保してください。



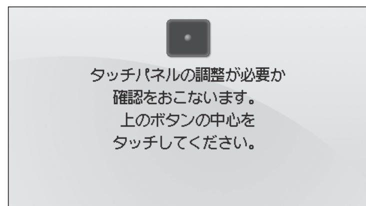
＜お知らせ＞

- 無線LANなどをお使いの場合は、電波干渉を防ぐために、機器から本体、子機ともに約3m以上離して設置してください。詳しくは、「本機を設置するときは」（☞7ページ）をご覧ください。
- AC アダプターと電話機コードはできるだけ離して設置してください。雑音が入ることがあります。
- 1つの電話回線を他の電話機やファクスと並列に接続しないでください。正常に動作しなくなることがあります。
- 電話機コードは、付属のものをお使いください。付属のものより長いものをお使いになるときは、66ページの別売品をお使いください。それ以外の市販品をお求めの場合、必ず6極２芯と表示されているものをお求めください。
- 直接配線（ローゼット／プレート）の場合、資格者の工事が必要です。また、３ピンプラグ式コンセントの場合、市販のアダプター、または資格者の工事が必要です。
- 引っ越しをしたときや本機を知人から譲られたときなど、最初に接続した電話回線と異なる回線に接続するときは、回線種別を手動で設定してください（☞17ページ）。

STEP2 タッチパネルの確認をする

ACアダプターを接続すると、タッチパネルの確認画面が表示されます。

1 画面に従ってタッチしてください。



・調整が必要なときは、タッチパネルの調整画面が表示されます（☞65ページ）。調整が完了するまで画面に従ってタッチしてください。

タッチパネルの確認が終了すると、本体が自動的に電話回線の種別を確認します。しばらくお待ちください。ピーと鳴ったら完了です。

STEP3 日付・時刻を設定する

電話回線の種別の確認が終了すると、日付・時刻の設定画面が表示されます。画面に従って設定してください。

1 日付を入力する

・1ケタの数字のときは頭に0を入力してください。
・2010年4月12日に設定したいときは、「20100412」と入力してください。
・変更したい数値をタッチして年・月・日をそれぞれ単独で変更することもできます。

2 時刻を入力する

・時刻は、24時間制で入力します。
・変更したい数値をタッチして時・分をそれぞれ単独で変更することもできます。

3 [時計設定] をタッチする

■ **日付・時刻を間違って入力したときは**
間違えた日付・時刻の数値をタッチして、あらためて入力してください。

■ **日付・時刻を設定し直す**
途中で間違って設定してしまったり、日付、時刻をあとから設定したいときは、42ページを参照して、あらためて設定してください。

―＜お知らせ＞―

● 時刻表示は、めやすとしてご利用ください。誤差が生じた場合は設定をやり直してください。
● 日付を設定すると、曜日は自動的に設定されます。
● 本体の時計は自動的に子機へ転送されます。本体の時計が誤っていると子機の時計も誤って表示されます。

STEP4 携帯とくとくダイヤルを設定する

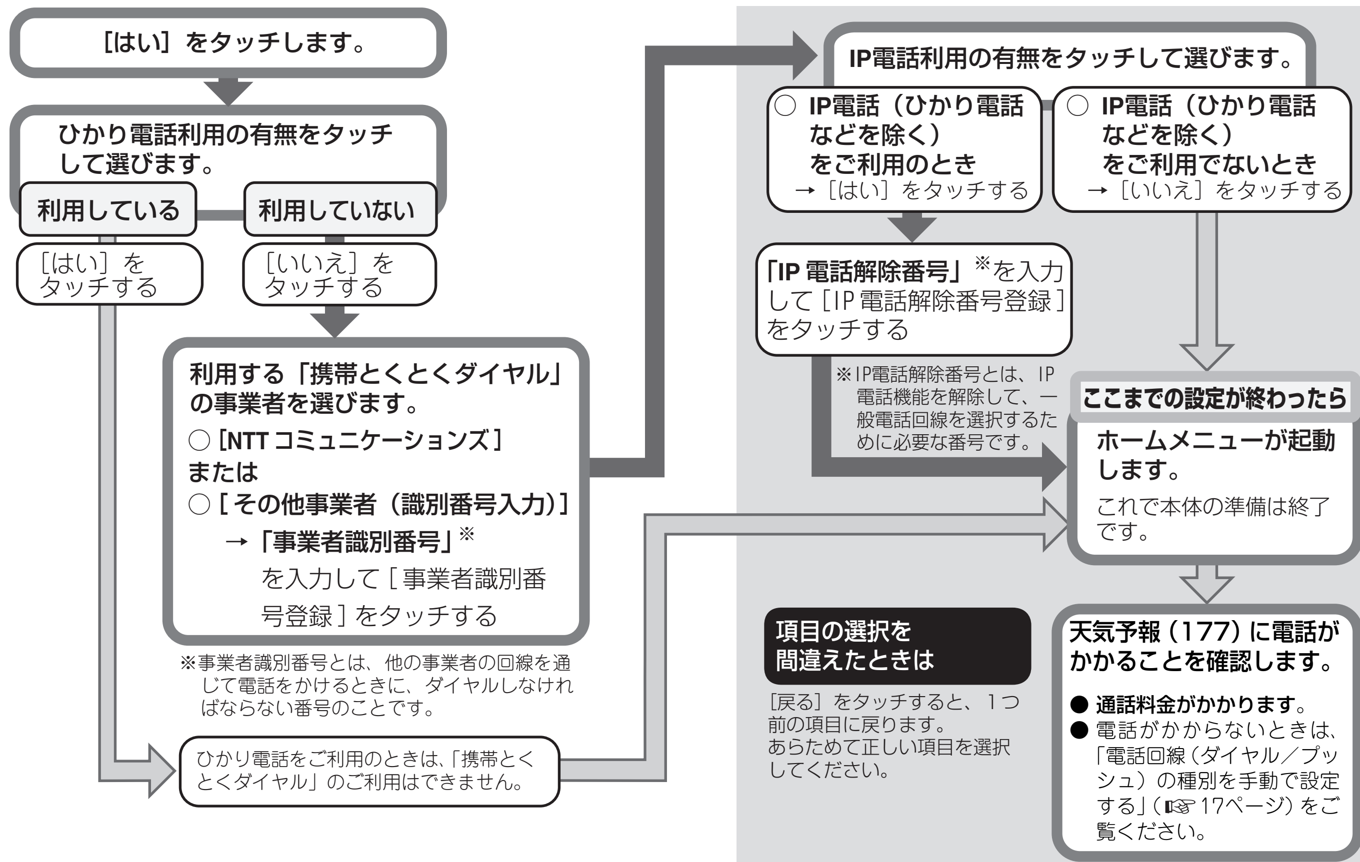
日付・時刻の設定をすると、「携帯とくとくダイヤル」の設定画面になります。

● 携帯電話へ電話をかけるときに、通話料がおトクになるサービスです。
● 番号の前に**「事業者識別番号」**（例：0033=NTTコミュニケーションズなど）を付けてダイヤルすることにより、各電話会社（通信事業者）が設定した通話料を選ぶことができます。

本機能についての詳しい説明は、45～46ページをご覧ください。

ひかり電話 NTT東日本、NTT西日本の光回線を利用した電話	▶ **携帯とくとくダイヤルはご利用できません。** ［いいえ］をタッチしてください。
その他の電話会社の光回線を利用した電話	▶ ご利用の各電話会社（通信事業者）にお問い合わせください。

携帯とくとくダイヤルを利用する場合は



■ 電話回線（ダイヤル／プッシュ）の種別を手動で設定する

電話がかからないときは、回線種別が正しく設定されていないことがあります。また、回線の状態によっては、自動的に設定できないときがあります。そのときは、あらためて回線種別を設定してください。
ダイヤル回線をお使いの場合は［ダイヤル回線（20pps）］または［ダイヤル回線（10pps）］、プッシュ回線をお使いの場合は［プッシュ回線（トーン）］を選んでください。
また、10PPS回線は自動で設定されませんので、この設定で10PPSに変えてからお使いください。

① 画面をタッチしてホームメニューにし、［設定］をタッチする
② ［電話設定］→［回線種別選択］の順にタッチする
③ ［プッシュ回線（トーン）］、［ダイヤル回線（20pps）］、［ダイヤル回線（10pps）］から設定したい内容をタッチする

● 回線を設定しても電話がかけられないときは、別の設定に変更して、もう一度お試しください。それでもかけられないときは、NTT窓口（局番なしの116番）までお問い合わせください。NTT以外の回線をご利用の場合は、契約している事業者に問い合わせてください。

■ 電話回線（ダイヤル／プッシュ）の種別をもう一度、自動で設定する

① 画面をタッチしてホームメニューにし、［設定］をタッチする
② ［電話設定］→［回線種別選択］の順にタッチする
③ ［自動設定］をタッチする

■ こんなときは

電話がかからない	■ 回線種別が正しく設定されていますか？ ⇒ ご契約の回線種別を確認して手動で変更します（☞上記）。
携帯電話につながらない	■ 光電話（NTTのひかり電話など）をご契約の場合「携帯とくとくダイヤル機能」はご利用になれません ⇒ 使用しない設定にします（☞45ページ）。
ナンバー・ディスプレイが動作しない	■ 57～61ページをご覧ください。 それでも改善されないときは ⇒ ご契約の内容をご確認ください。詳しくは、契約会社にお問い合わせください。 ⇒ シャープお客様ご相談窓口（☞72ページ）にご相談ください。
電話の声が聞こえにくい・雑音が入る	

—＜お知らせ＞—
● IP電話やひかり電話を使用しているときは、一部つながらない番号があります。詳しくは、契約電話会社にお問い合わせください。
● IP電話（インターネットサービスを使った電話）サービスや、構内交換機（PBX）、ビジネスホン、ホームテレホンをご利用のときは、回線種別が正しく設定されないことがありますので、ご契約の回線種別をお確かめのうえ、あらためて設定してください（☞左記）。

子機を充電する／充電池を交換する

通話時間について

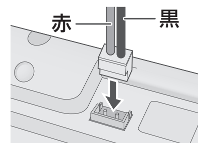
最大約5時間（通話状態） （10時間以上充電したとき）

● 充電池の残量がなくなると、“ピッピッ…”と警報音が鳴りますので、充電部に戻してください。

充電池をセットして子機を充電する

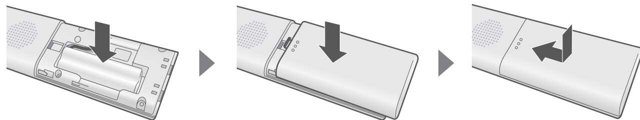
はじめてお使いになるときは、必ず**10時間以上充電**してください。

1 子機背面に充電池のコネクターを接続する

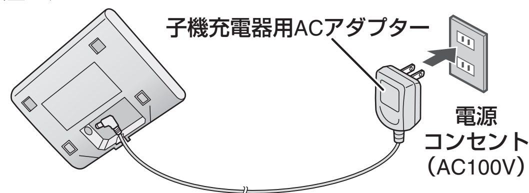


⚠ 警告
充電池のビニールカバーをはがしたり、傷を付けないでください。
充電池の液が漏れたり、発熱・破裂させる原因となります。

2 充電池を入れ、充電池ふたを取り付ける

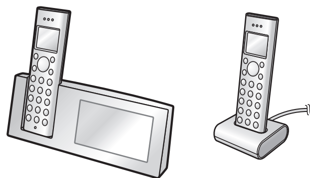


3 JD-4C1CWをお使いのときは、子機充電器用ACアダプターの接続端子を充電器に差し込み、差し込みプラグをコンセントに差し込む



・必ず本体には本体用、子機充電器には子機充電器用のACアダプターをご使用ください。

4 本体の充電部または充電器に置いて充電する



・必ず子機前面を手前にして置いてください。逆に置くと充電できません。
・本体の日時を設定していると、転送されて自動的に子機の日時が設定されます。
・充電中は [電池アイコン] が点滅します（充分に残っている状態から充電した場合は、[電池アイコン] も点滅しません）。

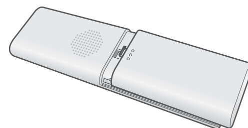
―＜お知らせ＞―
● 子機を2台以上お使いのときは、子機どうしが近づきすぎないようにしてください。電波が干渉して、着信音が鳴らなくなることがあります。
● 子機を使わないときは、いつも充電部に戻してください。充電のしすぎで故障することはありません。
● 充電中は充電部や子機が温かくなりますが、異常ではありません。

充電池を交換する

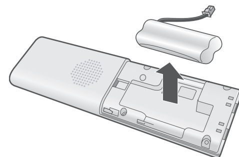
充電池は2年程度で交換してください（型番はM-224）

子機の充電池は消耗品です。使用頻度にもよりますが、2年程度で充電池の容量が減少していきます。
長時間充電してもすぐに子機が使えなくなるときには、新しい別売りの充電池（☞66ページ）に交換してください。

1 充電池ふたを取り外す



2 充電池を取り外す



3 新しい充電池を入れる

・「充電池をセットして子機を充電する」（☞17ページ）を参考に、新しい充電池を入れて10時間以上充電してください。

■ **充電式電池のリサイクルご協力のお願い**

充電式電池はニッケル水素電池を使用しています。
この電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。
電池の交換、廃棄に際しては、リサイクルにご協力ください。



**ニッケル水素電池の
リサイクルマークです。**

● ご使用済みの電池は、「当店は充電式電池のリサイクルに協力しています。」のステッカーを貼ったシャープ商品取り扱いのお店へご持参ください。

● リサイクル時のときは、次のことにご注意ください。
  - ●（+）端子と（-）端子にテープを貼る
  - ● 外装カバー（被覆・チューブなど）をはがさない
  - ● 分解しない

デモ画像を消去する

工場出荷時は、デモ用の画像が本体の内部メモリーに保存されています。

● デモ用の画像は、「内部メモリーの写真データを消去する」（☞38ページ）の操作で消去してください。

● デモ用の電話帳は「本体の電話帳を1件ずつ消去する」（☞23ページ）の操作で、「みほん1」「みほん2」を消去してください。フォト電話帳（☞30ページ）のデモデータも消去されます。

電話をかける・受ける・かけ直す

電話をかける

1 子機を充電部から取る

2 ダイヤルボタンで、電話番号を押す
・本体でダイヤルすることもできます。[表示切替] をタッチし、[ダイヤルボタン] をタッチして電話番号を入力し、[電話番号確定] をタッチしてください。

3 （通話ボタン）を押す

4 相手の方とお話しする

5 通話が終わったら （切ボタン） を押す、または充電部に戻す

■ 通話中にお待たせする（保留）
保留にすると、音楽が流れ、お互いの声が聞こえなくなります。

① 通話中に子機の （内線/消去 保留） を押す

● 再び通話するときは （内線/消去 保留） または （通話ボタン） を押してください。

■ ダイヤル回線でプッシュホンサービスを利用する（トーン信号）
① サービスにつながったあと、子機の （＊トーン） を押してからダイヤルボタンを押す

■ 子機を持たずに電話をかける（スピーカーホン通話）
① ダイヤルボタンで、電話番号を押す

② （スピーカーボタン） を押す

③ 相手につながったら、マイクに向かって話す

④ 通話が終わったら （切ボタン） を押す、または充電部に戻す

● ディスプレイに （スピーカーホン） マークが表示されます。

● マイクで話す距離のめやすは約50cmです。

● 通話時の音量が安定しない場合はスピーカー音量を調整してお使いください（☞41ページ）。

● 内線通話でスピーカーホンにすると、相手側で声が響いて聞き取りにくくなることがあります。

■ 天気予報や時報を聞く（スピーカー受話）
子機の （スピーカーボタン） を （スピーカー） マークが表示されるまで3秒以上押してからダイヤルすると、スピーカーから相手の声が聞こえます。ただし、相手の方との通話はできません。

（スピーカーボタン） を押すと、通話することができます。

■ 通話中、雑音が入るようなときは（電波サポート）
電波サポートを設定すると、改善される場合があります。下記の操作で現在の通話のみ、電波サポートが設定されます。

① 通話中に子機の （決定 メニュー） を押す

② （下ボタン） で [デンパサポート] を選び、（決定 メニュー） を押す

—＜お知らせ＞—

● 本体でダイヤル操作中に他の子機で同時にダイヤル操作しないでください。電話がかからないことがあります。

● 通話中は、ディスプレイにおよその通話時間を表示します。本体と子機とでは表示される通話時間に誤差があることがあります。

● 初めてお使いになるときや本体の電源を入れ直した後などでは、通話中に音質を適切にする設定が行われるため、しばらく通話音量が不安定になることがあります。そのままお使いいただくとまもなく安定します。

電話を受ける

1 電話がかかってきたら子機を充電部から取る

・子機を充電部に置いていないときは、［通話］を押す

2 相手の方とお話しする

3 通話が終わったら［切］を押す、または充電部に戻す

■ 子機を持たずに電話を受ける（スピーカーホン通話）

① 着信音が鳴ったら［スピーカー］を押す
② 相手につながったら、マイクに向かって話す
③ 通話が終わったら［切］を押す、または充電部に戻す
● マイクで話す距離のめやすは約50cmです。

電話をかけ直す（再ダイヤル）

相手の方がお話し中のときなどに、電話をかけ直すことができます。
以前かけた番号のうち新しいものから10件（本体は20件）まで記録されます。

1 子機を充電部から取り、［再ダイヤル］を押す

2 ［∧∨］でかけたい番号を選び、［通話］を押す

・再ダイヤルできる番号は、32ケタまでです。

3 相手の方とお話しする

4 通話が終わったら［切］を押す、または充電部に戻す

■ 本体で電話をかけ直す（再ダイヤル）

① 画面をタッチしてホームメニューにし、〔電話〕をタッチする
② 〔表示切替〕→〔再ダイヤル〕→〔再ダイヤル〕の順にタッチする
③ 電話をかけ直したい番号を選ぶ
④ 子機を充電部から取り、［通話］を押す
⑤ 相手の方とお話しする
⑥ 通話が終わったら［切］を押す、または充電部に戻す

■ 本体の再ダイヤルの記録をすべて消去する（内部メモリーのファイルをすべて消去する（データ消去）☞67ページ）

■ 子機の再ダイヤルを1件ずつ消去する

① ［再ダイヤル］を押す
② ［∧∨］で消去したい番号を選び、［決定/メニュー］を押す
③ ［∧∨］で〔ショウキョ〕を選び、［決定/メニュー］を2回押す

■ 子機の再ダイヤルの記録をすべて消去する

① ［決定/メニュー］を押し、［∧∨］で〔ゼンショウキョ〕を選ぶ
② ［決定/メニュー］を押し、［∧∨］で〔サイダイヤル〕を選び、［決定/メニュー］を2回押す

―＜お知らせ＞―

● 再ダイヤルの番号は、本体と子機で別々に記録しています。本体でかけた番号を子機で再ダイヤルしたり、子機でかけた番号を本体や他の子機で再ダイヤルしたりすることはできません。
● 本体の再ダイヤルは、１件ずつ消去できません。
● 通話中は本体でお断りなどの操作をすることができます。ただし、本体と子機を離してご使用になるときは、他の人が本体を操作しても有効となりますのでご注意ください。

本体の電話帳の登録／修正／消去

よく利用する電話番号を、電話帳に登録しておくことができます。本体には最大100人分の番号を登録できます。

本体の電話帳に登録する

1 画面をタッチしてホームメニューにし、[設定] をタッチする

2 [電話帳] → [新規登録] の順にタッチする

電話番号や写真を電話帳に登録することができます。		戻る
名前	電話帳登録	着信記録
よみ		
電話番号	イラスト/写真	

・ホームメニューで［電話］→［表示切替］→［電話帳］→いずれかの行→［タッチして登録してください］の順にタッチして、この画面を表示することもできます。

3 [名前] をタッチして名前を入力し（全角10文字まで）、[登録] をタッチして入力を確定させ、再度 [登録] をタッチする

・文字を入力する（☞25、27ページ）

4 「よみ」を確認する（半角20文字まで）

○ 正しいときは：そのまま手順5へ

○ 間違っているときは：タッチして、正しい読みを入力する

・文字を入力する（☞25、27ページ）

5 [電話番号] をタッチして、番号を入力し、[確定] をタッチする（32ケタまで）

・市外局番から登録してください。
・［ポーズ］をタッチすると、約３秒間の待ち時間（ポーズ）を入力できます（ディスプレイには「ー」（ハイフン）で表示されます）。

6 ○ イメージを登録しないときは：
[電話帳登録] をタッチする → 手順９へ

○ イメージを登録するときは：
[イラスト／写真] をタッチする → 手順7へ

7 ○ 写真を登録するときは：
[写真を登録] をタッチして、登録したい写真を選ぶ

○ イラストを登録するときは：
[イラストを登録] をタッチして、設定したいイメージイラストを選ぶ

8 [電話帳登録] をタッチする

9 ○ 続けて電話帳を登録するときは：
[新規登録]をタッチする → 手順3からくり返し操作する

○ 電話帳の登録をやめるときは：[戻る] をタッチする

―＜お知らせ＞―

● 電話帳は、名前、よみ、電話番号を入力しないと登録できません。

■ 本体の電話帳を修正する

① 画面をタッチしてホームメニューにし、［設定］をタッチする
② ［電話帳］→［修正］の順にタッチする
③ 修正したい相手先の名前の行をタッチして、修正したい相手先を選ぶ
④ 修正したい項目をタッチし、修正する
⑤ ［電話帳登録］をタッチする

■ 本体の電話帳を1件ずつ消去する
① 画面をタッチしてホームメニューにし、〔設定〕をタッチする
② 〔電話帳〕→〔削除〕の順にタッチする
③ 消去したい相手先の名前の行をタッチして、消去したい相手先を選ぶ
④ 〔はい〕をタッチする

■ 本体の電話帳をすべて消去する（内部メモリーのファイルをすべて消去する（データ消去）☞67ページ）

■ 本体の電話帳の登録件数を確認する（内部メモリー使用容量 ☞68ページ）

■ 本体の着信記録を電話帳に登録する
① 画面をタッチしてホームメニューにし、〔設定〕をタッチする
② 〔電話帳〕→〔新規登録〕の順にタッチする
③ 〔着信記録〕をタッチし、登録したい着信記録をタッチする
・着信記録の登録には、ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です。
④ 必要な項目を登録し、〔電話帳登録〕をタッチする

フォト電話帳の登録／解除

電話帳に登録した相手先の中から、よく利用する相手先をフォト電話帳に登録することができます。ダイヤルしたり電話帳を選んだりすることなく、写真やアイコンをタッチして電話をかけることができます。最大5件の相手先を登録できます。

フォト電話帳に登録する

1 画面をタッチしてホームメニューにし、[設定] をタッチする

2 [電話帳] → [フォト電話帳] をタッチする

3 [タッチして登録してください] をタッチする
・〔タッチして登録してください〕が表示されていない場合は、「フォト電話帳を解除する」（☞下記）で登録されているフォト電話帳を解除してから登録し直してください。

4 登録したい相手先の名前の行をタッチして、登録したい相手先を選ぶ

5 ○ 続けてフォト電話帳を登録するときは：
[フォト電話帳] をタッチする → 手順3からくり返し操作する
○ フォト電話帳の登録をやめるときは：[戻る] をタッチする

・ホームメニューで〔電話〕→〔表示切替〕→〔フォト電話帳〕の順にタッチして、登録することもできます。

フォト電話帳を解除する

1 画面をタッチしてホームメニューにし、[設定] をタッチする

2 [電話帳] → [フォト電話帳] をタッチする

3 解除したいフォト電話帳を選ぶ

4 [解除する] をタッチする

5 ○ 続けてフォト電話帳を解除するときは：
[フォト電話帳] をタッチする → 手順3からくり返し操作する
○ フォト電話帳の解除をやめるときは：[戻る] をタッチする

—＜お知らせ＞—
● フォト電話帳に登録している電話帳の内容を変更・消去すると、フォト電話帳の内容も変更・消去されます。

子機の電話帳の登録／修正／消去

よく利用する電話番号を、電話帳に登録しておくことができます。子機には最大100人分の番号を登録できます。

子機の電話帳に登録する

1 決定(メニュー) を押し、(⌃⌄) で［デンワチョウ］を選ぶ

2 決定(メニュー) を押し、(⌃⌄) で［デンワチョウトウロク］を選ぶ

3 決定(メニュー) を押し、ダイヤルボタンで名前を入力する（半角12文字まで）

○ 名前の入力を省略するときは、何も入力せず 決定(メニュー) を押す → 手順5へ

・文字を入力する（☞25～26、28ページ）

4 決定(メニュー) を押す

5 ダイヤルボタンで電話番号を入力する（24ケタまで）

・市外局番から登録してください。

6 決定(メニュー) を押す

■ 子機のポーズについて

電話番号入力時に (⧉) を押すと、約3秒間の待ち時間（ポーズ）を入力できます。
ディスプレイには「━」（ハイフン）で表示されます。

■ 子機の電話帳を修正する

① (📖) を押す

② (⌃⌄) で修正したい相手の番号を選び、決定(メニュー) を押す

③ (⌃⌄) で［ヘンコウ］を選び、決定(メニュー) を押す

④ ダイヤルボタンで名前を修正して、決定(メニュー) を押す

⑤ ダイヤルボタンで電話番号を修正して、決定(メニュー) を押す

● 修正しない項目は、修正せずにそのまま 決定(メニュー) を押してください。

■ 子機の電話帳の内容を本体にも登録する（☞31ページ）

■ 子機の再ダイヤルの記録を電話帳に登録する

① (⧉) を押す

② (⌃⌄) で登録したい番号を選び、決定(メニュー) を押す

③ (⌃⌄) で［トウロク］を選び、決定(メニュー) を押す

④ 名前を入力して、決定(メニュー) を押す（☞25～26、28ページ）

⑤ 電話番号を確認して、決定(メニュー) を押す

■ 子機の着信記録を電話帳に登録する

① (着信) を押す

② (⌃⌄) で登録したい番号を選び、決定(メニュー) を押す

③ (⌃⌄) で［トウロク］を選び、決定(メニュー) を押す

④ 名前を入力して、決定(メニュー) を押す（☞25～26、28ページ）

⑤ 電話番号を確認して、決定(メニュー) を押す

● 着信記録の登録には、ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です。

■ 子機の電話帳を1件ずつ消去する

① (電話帳) を押す

② (上下) で消去したい相手の番号を選び、決定(メニュー) を押す

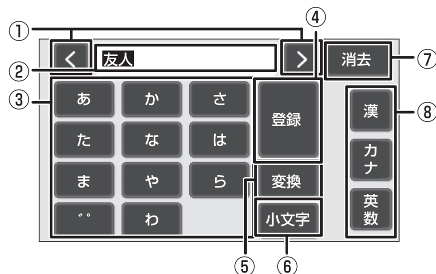
③ (上下) で［ショウキョ］を選び、決定(メニュー) を2回押す

―＜お知らせ＞―

● 本体が使用中などのときは、「ピーピー」とエラー音が鳴って、子機の電話帳の登録／修正／消去をすることはできません。

文字を入力する

文字入力のしかた（本体）



① カーソル（＜／＞）
タッチすると、入力表示のカーソルが左右に移動します。

② 入力表示
現在入力している文字が表示されます。

③ 文字入力キー
表示されている文字を入力します。タッチするごとに文字が切り替わります。

④［登録］
［漢］の変換時は、変換を確定します。
変換時以外は、文字入力を決定し、画面が切り替わります。

⑤［変換］
［漢］で入力した文字を変換します。タッチするたびに、次の変換結果を表示します。［登録］をタッチすると変換が確定します。

⑥［小文字］
入力した文字を小文字に変換します。

⑦［戻る］／［消去］
何も文字を入力していないときは、［戻る］が表示されます。タッチすると、何も入力せずに元の画面に戻ります。
文字を入力しているときは、［消去］が表示されます。タッチすると、入力した文字が消去されます。
［変換］をタッチして変換中のときは変換を止めて、かな表示に戻ります。

⑧［漢］／［カナ］／［英数］
入力モードを変更します。

―＜お知らせ＞―

● 本体は全角入力のみです。

文字入力のしかた（子機）

入力モードを切り替えることによって、カタカナ、英字、数字の3種類が入力できます。

1 カナ(キャッチ) を押し、入力モードを選ぶ（押すごとに切り替え）

2 ダイヤルボタンで文字を入力する

（入力例）

［カナ］

ユ	ウ	ジ	ン
8ヤ（2回）	1ア（3回）	3サ（2回）、＊゛゜（1回）	0ワ（3回）

［英］

S	H	O	P
7マ（4回）	4タ（2回）	6ハ（3回）	7マ（1回）

［数］

1	2	3
1ア	2カ	3サ

・ボタンを押すごとに文字が切り替わります（[数]では１ボタンにつき１文字）。

・例：【1】の場合　ア→イ→ウ→エ→オ→ァ→ィ→ゥ→ェ→ォ（→アに戻る）

電話・電話帳

■ 文字を消去する

子機で文字を消すときは、内線/消去 保留 を押します（カーソルの1つ前の文字を消去／カーソルが文字の上にあるときは、その文字を消去）。2秒以上、内線/消去 保留 を押し続けると、すべての文字が消去されます。

■ 小文字を入力する

小文字のある「ア行」、「タ行」、「ヤ行」では、大文字の切り替えが一巡したあと、小文字を入力することができます。詳しくは、「文字入力一覧表（子機）」（☞28ページ）をご覧ください。

■ 文字と文字の間を空ける（「姓」と「名」の間を空けるときなど）

前の文字を入力したあとに を押し、スペースを入力してから次の文字を入力してください。

【0】をスペースが入力されるまで押して間を空けることもできます。ただし、入力モードが〔数〕のときは、スペースを入れることはできません。詳しくは、「文字入力一覧表（子機）」（☞28ページ）をご覧ください。

■ 同じボタンに割り当てられている文字を続けて入力する（「イエ」など）

文字を入力したあと、 を押してカーソルを移動させてから、次の文字を入力します。

文字入力一覧表（本体）

■ 漢／カナモード

入力キー（漢／カナ）／押す回数	あ／ア※	か／カ	さ／サ	た／タ	な／ナ	は／ハ	ま／マ	や／ヤ※	ら／ラ	わ／ワ	゛゜
1回	あ／ア	か／カ	さ／サ	た／タ	な／ナ	は／ハ	ま／マ	や／ヤ	ら／ラ	わ／ワ	゛（濁点）
2回	い／イ	き／キ	し／シ	ち／チ	に／ニ	ひ／ヒ	み／ミ	ゆ／ユ	り／リ	を／ヲ	゜（半濁点）
3回	う／ウ	く／ク	す／ス	つ／ツ※	ぬ／ヌ	ふ／フ	む／ム	よ／ヨ	る／ル	ん／ン	
4回	え／エ	け／ケ	せ／セ	て／テ	ね／ネ	へ／ヘ	め／メ		れ／レ	ー	
5回	お／オ	こ／コ	そ／ソ	と／ト	の／ノ	ほ／ホ	も／モ		ろ／ロ	（スペース）	

※ 小文字に変換することができます。

■ 英数モード

入力キー／押す回数	@ 1	ABC 2	DEF 3	GHI 4	JKL 5	MNO 6	PQRS 7	TUV 8	WXYZ 9	?! 0	＊	#
1回	@	A	D	G	J	M	P	T	W	?	＊	#
2回	.	B	E	H	K	N	Q	U	X	!		
3回	/	C	F	I	L	O	R	V	Y	,		
4回	-	2	3	4	5	6	S	8	Z	:		
5回	_						7		9	&		
6回	1									/		
7回										(		
8回										)		
9回										（スペース）		
10回										0		

文字入力一覧表（子機）

入力ボタン	カタカナ(ｶﾅ)	英 字(英)	数字(数)
1ｱ	アイウエオァィゥェォ	無効	1
2ｶ	カキクケコ	A B C a b c	2
3ｻ	サシスセソ	D E F d e f	3
4ﾀ	タチツテトッ	G H I g h i	4
5ﾅ	ナニヌネノ	J K L j k l	5
6ﾊ	ハヒフヘホ	M N O m n o	6
7ﾏ	マミムメモ	P Q R S p q r s	7
8ﾔ	ヤユヨャュョ	T U V t u v	8
9ﾗ	ラリルレロ	W X Y Z w x y z	9
0ﾜ	ワヲン -（スペース）	-（スペース）/ [ ] : , . ! ( ) & ? @	0
*ﾞﾟ	濁点/半濁点	無効	*
#	無効		#
◁ ▷	カーソル左右移動		
決定 メニュー	決定（次へ進む）		
内線/消去 保留	1文字消去（2秒以上押し続けると、すべての文字を消去）		
カナ キャッチ	文字の種類の切り替え		

電話帳で電話をかける

よく使う相手先を電話帳に登録しておくと、電話帳から相手先を選んで電話をかけることができます。

●電話帳登録 本体（☞22ページ）／子機（☞24ページ）

電話帳でかける

1 **子機を充電部から取り、(電話帳) を押す**

2 **(上下) で相手を選び、(通話) を押す**

3 **相手の方とお話しする**

・通話中は、ディスプレイにおよその通話時間を表示します。

4 **通話が終わったら (切) を押す、または充電部に戻す**

■ 本体の電話帳でかける

① 画面をタッチしてホームメニューにし、［電話］をタッチする
② ［表示切替］→［電話帳］の順にタッチする
③ 電話をかけたい相手の行をタッチし、相手先を選ぶ
④ 子機を充電部から取り、(通話) を押す
⑤ 相手の方とお話しする
・通話中は、ディスプレイにおよその通話時間を表示します。
⑥ 通話が終わったら (切) を押す、または充電部に戻す

■ 子機で25ケタ以上の番号をダイヤルする

電話帳には、電話番号を24ケタまでしか登録できません。25ケタ以上の電話番号のときは、番号を分けて登録しておけば続けて使えます（チェーンダイヤル機能）。

① (電話帳) を押す
② (上下) で番号を選び、(通話) を押す
③ 電話が発信される前に、(電話帳) を押す
④ (上下) で次の番号を選び、(通話) を押す
⑤ 相手の方とお話しする
⑥ 通話が終わったら (切) を押す、または充電部に戻す

■ 子機で名前の頭文字から検索して電話をかける

ダイヤルボタンで電話帳から相手先を検索できます。「オトウサン」を探すときは「あ行」に対応した【1】を押す、「ガッコウ」を探すときは「か行」に対応した【2】を押すというように、行単位でおおまかに検索できます。

① (電話帳) を押す
② ダイヤルボタンで相手の名前の行を入力する
（例：「ユウジン」を探すときは 【8】）（☞25～26、28ページ）
③ 目的の相手の番号が選ばれていないときは、(上下) を押して選び、(通話) を押す
④ 相手の方とお話しする
⑤ 通話が終わったら (切) を押す、または充電部に戻す

■ 子機の電話帳に184（非通知）や186（通知）を付けて電話をかける（特番ダイヤル）

184や186などの番号を電話帳に登録した番号の前に入れてダイヤルします。

① (電話帳) を押す

② (上下) で番号を選び、(決定/メニュー) を押す

③ (上下) で［トクバンダイヤル］を選び、(決定/メニュー) を押す

④ 特番ダイヤルを入力する（8ケタまで）
非通知でかけるときは【1】【8】【4】、通知してかけるときは【1】【8】【6】と順に押す

⑤ (外線) を押す

⑥ 相手の方とお話しする

⑦ 通話が終わったら (切) を押す、または充電部に戻す

―＜お知らせ＞―

- 子機の電話帳は、次の順に自動的に並べ換えられます。数字（０～９）→英字（Ａ～Ｚ）→カナ（50音順）
- 本体には、チェーンダイヤル機能と特番ダイヤル機能はありません。

フォト電話帳で電話をかける

フォト電話帳に登録した写真やアイコンをタッチして電話をかけることができます。

●フォト電話帳登録（☞23ページ）

写真をタッチして電話をかける

1 子機を充電部から取る
- 前回利用した電話メニューの画面が表示されます。

2 本体で［表示切替］→［フォト電話帳］の順にタッチする

3 電話をかけたい相手の方を選ぶ



4 子機の (外線) を押す

5 相手の方とお話しする
- 通話中は、ディスプレイにおよその通話時間を表示します。

6 通話が終わったら (切) を押す、または充電部に戻す

本体と子機、子機と子機の間で電話帳を転送する

本体で登録した電話帳を子機に、子機で登録した電話帳を本体に転送することができます（転送した電話番号は消えません）。

本体の電話帳を子機に転送する

1 画面をタッチしてホームメニューにし、[設定] をタッチする

2 [電話帳] → [子機転送] をタッチする

3 ○ 1件ずつ転送するとき：
[1件ごと転送] をタッチする→ 手順4へ
○ すべて転送するとき：
[全件転送] をタッチする→ 手順5へ

4 転送したい相手先の名前の行をタッチして、転送したい相手先を選ぶ

5 転送する子機の番号（[子機1] ～ [子機4]）をタッチする

■ 子機の電話帳をすべて転送する

子機から子機への電話帳の転送は、子機を2台以上お使いのときにご使用になれます。

① 決定(メニュー) を押す

② (∧∨) で〔デンワチョウ〕を選び、決定(メニュー) を押す

③ (∧∨) で〔ゼンケン テンソウ〕を選び、決定(メニュー) を押す

④ (∧∨) で本体（オヤキ）、または他の子機から転送先を選び、決定(メニュー) を押す

■ 子機の電話帳を1件ずつ転送する

子機から子機への電話帳の転送は、子機を2台以上お使いのときにご使用になれます。

① (電話帳) を押す

② (∧∨) で転送したい相手を選び、決定(メニュー) を押す

③ (∧∨) で〔テンソウ〕を選び、決定(メニュー) を押す

④ (∧∨) で本体（オヤキ）、または他の子機から転送先を選び、決定(メニュー) を押す

● 本体が使用中などのときは、「ピーピー」とエラー音が鳴って転送できません。

―<お知らせ>―

● 本体に登録した写真やイメージは転送されません。
● 転送先の電話帳が100件を超えないようにしてください。100件を超えた電話帳の内容は転送されません。
● 名前とよみ（カナ）と電話番号が同じデータをすでに登録されている場合は、転送動作は完了しますが、データは転送されません。
● 本体から子機へ転送できるよみ（カナ）は12文字までです。
● 本体から子機へ転送する場合は、電話番号が25ケタ以上の電話帳データは転送されません。

留守番電話

留守に設定する／解除する

外出中に相手の方の用件を録音します。
● 相手の方の用件は、１件につき約2分間録音できます。
● すべての録音を合わせて、最大約10分間または30件まで録音できます。

本体で留守に設定する

1 画面をタッチしてホームメニューにし、[留守] をタッチする

・メモリーや録音件数がいっぱいのときは、メッセージ一覧画面が表示されます。不要なメッセージを消去（☞34ページ）してから、もう一度留守に設定してください。

本体で留守設定を解除する

留守設定を解除すると、未再生のメッセージを古い順番に自動的に再生します。新しい録音がない場合は、再生しません。

1 留守設定中に、画面をタッチしてホームメニューにし、[留守中] をタッチする

・未再生のメッセージ件数が〔留守中〕の下部に表示されます。

○ 再生が最後まで終わると、自動的に再生が終了します。→手順2へ

○ 再生を途中でやめるときは、再生しているメッセージをタッチする

2 ○ 聞き直したいときは：メッセージをタッチする
○ 終了するときは：[ホーム] をタッチする

■ **子機で留守設定をする／解除する**

① 決定(メニュー) を押す
② (∧∨) で〔ルスバンデンワ〕を選び、決定(メニュー) を押す
③ (∧∨) で〔ルス セッテイ〕を選び、決定(メニュー) を押す
④ (∧∨) で〔セッテイ シナイ〕または〔セッテイ スル〕を選び、決定(メニュー) を押す

● 子機で留守設定を解除しても、録音メッセージを自動的に再生しません。

■ **留守番電話の応答回数を変更する（留守時応答回数）**

留守番電話に設定しているときに、応答メッセージが流れるまでの相手の方への応答回数を変更することができます。工場出荷時は〔4〕回に設定されています。
① 画面をタッチしてホームメニューにし、〔設定〕をタッチする
② 〔電話設定〕→〔留守応答回数〕の順にタッチする
③ 〔2〕〔4〕〔6〕〔8〕回から設定したい内容を選ぶ

● 子機の着信音は1回～2回遅れて鳴ることがあります。この場合、設定した回数より着信音の回数が少なくなります。
ナンバー・ディスプレイのご契約をされていない場合は、ナンバー・ディスプレイの設定を〔使用しない〕に変更すると改善されることがあります（☞52ページ）。

＜お知らせ＞
● 応答メッセージは固定のみです。変更することはできません。

録音されている内容を再生／消去する

録音されている内容（留守中に録音されたメッセージや「今から録音」）を再生するときの操作です。本体と子機のどちらでも再生できます。

本体で録音内容を再生する

1 画面をタッチしてホームメニューにし、[お知らせ] をタッチする

2 再生したいメッセージ（ ）を選ぶ

3 ○ 再生が最後まで終わると、自動的に再生を終了する
○ 再生を途中でやめるときは、
再生しているメッセージをタッチする

4 ○ 聞き直したいときは：メッセージをタッチする
○ 終了するときは：[ホーム] をタッチする

■ 再生中に電話がかかってきたら
着信すると、再生は自動的に止まります。そのまま電話に出ると、お話しすることができます。

■ 本体の内部メモリーの残量を確認する（内部メモリー使用容量 ☞68ページ）

子機で録音内容を再生する

1 決定（メニュー）を押す

2 （上下）で [ルスバンデンワ] を選び、決定（メニュー）を押す

3 （上下）で [サイセイ] を選び、決定（メニュー）を押す

・未再生の録音以後から再生します（未再生の録音がない場合は1件目から再生）。
・録音内容は、約3秒以上再生すると再生済みになります。

4 ○ 再生が最後まで終わると、自動的に再生を終了します。
○ 再生中の録音を1件消去したいときは 内線/消去（保留） → （1ア） と順に押します。
○ 再生を途中でやめるときは、（切） を押します。

―＜お知らせ＞―
● 本体が使用中などのときは、エラー音が鳴って録音内容を再生することができません。

再生中にできる操作について

■ 本体

再生を途中でやめる	再生中に再生しているメッセージをタッチする
再生スピードを変える	再生中に［再生スピード］をタッチする ･押すたびに、再生の速さが切り替わります。
音量を変える	音量を小さくするには［小］、大きくするには［大］をタッチする

■ 子機

再生を途中でやめる	再生中に （切）
再生中の録音を聞き直す	再生中に （5ナ）
次の録音にとばす	再生中に （6ハ）
1つ前の録音に戻す	2秒以上再生したあと （5ナ） を2回続けて押す ※
再生スピードを変える	再生中に （9ラ） ･押すたびに、再生の速さが切り替わります。
再生中の録音を1件消去する	消したい録音を再生中に 内線/消去（保留） → （1ア） と順に押す。

※ 聞きたい録音まで戻すときは、（5ナ） をくり返し押します（2回続けて押すごとに1つ戻ります）。

■ 本体で録音メッセージを消去する

本体メモリーにあるメッセージを消去できます。

1件ずつ選んで消去する

① 留守設定中に画面をタッチしてホームメニューにし、［留守中］をタッチする
② ［消去メニュー］をタッチし、消去したいメッセージを選ぶ
③ ［消去］→［消去する］の順にタッチする
・消去途中に［キャンセル］をタッチすると、［キャンセル］をタッチするまでのメッセージデータが消去されます。

すべて消去する（内部メモリーのファイルをすべて消去する（データ消去）☞67ページ）

■ 子機で録音をすべて消去する

① 決定（メニュー） を押す
② （∧∨） で［ルスバンデンワ］を選び、決定（メニュー） を押す
③ （∧∨） で［ロクオン ショウキョ］を選び、決定（メニュー） を押す
④ （∧∨） で［ショウキョ スル］を選び、決定（メニュー） を押す

＜お知らせ＞

● 不要な用件はなるべく消去してください。録音されている用件が多いと、メモリー残量が少なくなり、あらたに録音ができなくなることがあります。

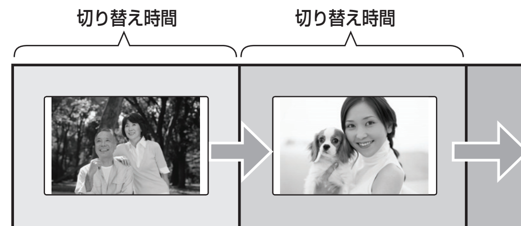
写真を表示する

フォトスライドとは

メモリーカードの中にある写真や本体にコピーした写真を１枚ずつ順番に表示します。
何も操作をしていないときに、画面をタッチしないで3分経過すると、自動的にフォトスライドがはじまります。消灯状態から設定時刻に点灯して自動的にフォトスライドをはじめることもできます。

- メモリーカードが挿入されているときは、メモリーカードの写真を表示します。
- カレンダーや時計と写真を一緒に表示したり、表示するレイアウトを変更したりすることもできます（「フォトスライドの設定をする」 ☞37ページ）。
- フォトスライド中に画面をタッチするとホームメニューが、着信すると着信画面が、子機を充電部から取ると前回利用した電話メニューの画面が表示されます。

フォトスライドがはじまると…

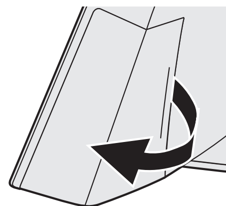


現在再生しているメモリー内の写真が設定した順番で再生されます。

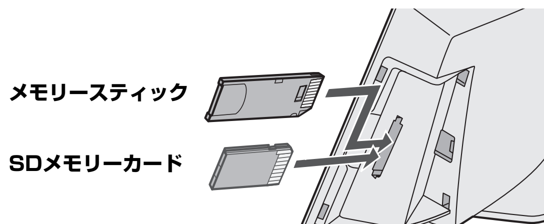
■ **表示できる写真のファイル形式について**
JPEG 形式の写真ファイル（Exif 規格に対応）を表示できます。パソコンで加工したJPEGファイルは、表示や操作できない場合があります。
64 × 64～8,000 × 8,000ピクセルの写真ファイルを表示できます。

メモリーカードを取り付ける

1 メモリーカードスロットカバーを取り外す



2 メモリーカードを図の向きに合わせて、カードスロットの奥まで確実に挿入する



・ななめに差し込んだり、無理な力を加えたりしないでください。
・メモリーカードの端子面を本体背面側にして挿入してください。
・SDメモリーカードとメモリースティックを２枚同時に挿入することはできません。

3 メモリーカードスロットカバーを取り付ける

・メモリースティックをお使いのときは、メモリースティック用メモリーカードスロットカバーを取り付けます。

■ メモリーカードを取り外す

① 手でまっすぐにゆっくりとメモリーカードを取り出す

写真の表示中や本体のディスプレイに「メモリーカードを抜かないでください」と表示しているときは、メモリーカードを取り外さないでください。ファイルが開けなくなったり、メモリーカードが破損するおそれがあります。

―<お知らせ>―

- メモリーカード以外のものを挿入すると、破損するおそれがあります。
- メモリーカードを無理に抜き取ると、本体やメモリーカードが破損することがあります。
- メモリーカードを抜き取るときに、金属端子部分を手や金属で触れないでください。
- カードアダプターを使用して本体に取り付けたメモリーカードを取り外すときは、カードアダプターごと完全に取り外してください。カードだけを取り外して、カードアダプターが本体に残っていると、正しく動作しなくなることがあります。

写真を一覧表示する

メモリーの写真を一覧表示することができます。

1 画面をタッチしてホームメニューにし、[写真]をタッチする

2 [写真を見る] をタッチする

・ 写真が一覧表示されます。

・ インデックス画面の上に表示されている数字（1/2 など）は、画面番号/ 画面総数を表します。

再生メモリーを切り替える

写真の一覧（インデックス）画面から、表示する再生メモリーを切り替えることができます。

1 画面をタッチしてホームメニューにし、[写真]をタッチする

2 [写真を見る] をタッチする

3 [内部メモリー] または [メモリーカード] をタッチする

写真を一覧から選んで1枚ずつ表示する

写真の一覧（インデックス）画面から、お気に入りの1枚だけを表示することができます。

1 画面をタッチしてホームメニューにし、[写真]をタッチする

2 [写真を見る] をタッチする

3 一枚表示したい写真をタッチする

・ 写真が1枚と写真表示メニューが表示されます。



① [前へ] ／ [次へ]
表示している写真の１つ前／後の写真を表示します。

② [フォトスライド]
フォトスライドをはじめます。

③ [回転]
タッチするたびに、写真が時計回り(右回り)に90°ずつ回転します。

何もタッチせずに３分経過すると、自動的にフォトスライド（☞35ページ、37ページ）がはじまります。

フォトスライドをはじめる

1 **画面をタッチしてホームメニューにし、[写真]をタッチする**

2 **[写真を見る] をタッチする**

3 **いずれかの写真をタッチする**

4 **[フォトスライド] をタッチする**

・フォトスライドがはじまります。

＜お知らせ＞

● 写真を回転させておくと、フォトスライドでも回転させた向きで写真が表示されます。ただし、メモリーカードの場合は、電源を入れ直したりメモリーカードを取り付け直したりすると、元に戻る場合があります。

デジタルフォトフレームの設定をする

フォトスライドの設定をする

フォトスライドの切り替え時間、再生順、フォトスライドの写真の表示方法を変更できます。カレンダーや時計と組み合わせて表示することもできます。

1 **画面をタッチしてホームメニューにし、[設定] をタッチする**

2 **[ディスプレイフォトスライド設定] をタッチする**

3 **設定したい内容をタッチする**

・スライドレイアウトを設定すると、選択したレイアウトのフォトスライドがはじまります。

項目	設定	工場出荷時
スライド再生スピード	5、10、30秒／ 1、5、30分／ 1、3、12、24時間	5秒
再生順	撮影日時／シャッフル	撮影日時
スライドレイアウト	標準／全画面※1／ 写真＋時計（２種類）／ カウントダウン※2／ デジタル時計（３種類）／ カレンダー（２種類）／ アナログ時計（３種類）／ 写真＋カレンダー（２種類）	標準

※１ 全画面表示の設定は、写真によっては正しく表示されなかったり、写真の一部が表示されなかったりすることがあります。

※２ カウントダウンタイマーを設定する（☞49ページ）と設定できます。

＜お知らせ＞

● フォトスライドの設定をする前に、必ず時刻を設定してください。
● スライド再生スピードは、およその時間です。
● 撮影日時順に設定したときは、ファイル中の撮影日時データが古い順に再生されます。
● 日付と時刻の設定をしていない場合は、時計やカレンダーを利用できません。
● 時計の表示は、およその時間です。
● カレンダーの祝日は、2010年現在のものです。
● お知らせやエラーメッセージを表示しているときは、スライドレイアウトが一時的に標準になります。

内部メモリーに写真データをコピーする

メモリーカードの写真データを内部メモリーにコピーできます。

メモリーカードの写真データを内部メモリーにコピーする

使用するメモリーカードを取り付けておいてください（☞35、39ページ）。

1 画面をタッチしてホームメニューにし、[写真] をタッチする

2 [写真を管理する] をタッチする

3 [内部メモリーへ写真を保存] をタッチする

4 内部メモリーへ保存したい写真データを選ぶ

○ すべて選択したいときは：[ページ内選択] をタッチする
- 画面に表示されているすべての写真データが選択されます。他のページの写真データは選択されません。

○ 選択を解除したいときは：[すべて解除] をタッチする
- 選択されたすべての写真データが解除されます。

5 [コピー] をタッチする
- 保存がはじまります。

■ メモリーカードを取り外す（☞36ページ）

―＜お知らせ＞―
● 内部メモリーのデータをメモリーカードにコピーすることはできません。

■ 内部メモリーの写真データを消去する

1件ずつ選んで消去する

① 画面をタッチしてホームメニューにし、[写真] をタッチする
② [写真を管理する] をタッチする
③ [内部メモリーの写真を削除] をタッチし、消去したい写真データを選ぶ
- [ページ内選択] をタッチすると画面表示されている写真データがすべて選択されます。
- [すべて解除] をタッチするとすべての選択が解除されます。

④ [消去] → [消去する] の順にタッチする
- 消去途中に [キャンセル] をタッチすると、[キャンセル] をタッチするまでの写真データが消去されます。

すべて消去する（内部メモリーのファイルをすべて消去する（データ消去）☞67ページ）

■ 本体の内部メモリーの残量を確認する（内部メモリー使用容量 ☞68ページ）

―＜お知らせ＞―
● データの保存中は、メモリーカードを取り外さないでください。本体やメモリーカードが破損することがあります。
● メモリーカードの写真データを内部メモリーにコピーした場合、本体の液晶ディスプレイに合わせた写真データのサイズに変換されます。

メモリーカードについて

メモリーカードは付属していませんので、別途お買い求めください。

使用できるメモリーカードについて

本書では、以下のSD カード、メモリースティックを総称して「メモリーカード」と呼んでいます。

SDカード

本書では、以下のものをまとめて「SDカード」と呼んでいます。

SDメモリーカード、miniSD／microSDカード	最大2GBまで
SDHC メモリーカード	最大32GBまで
miniSDHC／microSDHC メモリーカード	最大4GBまで

当社で動作確認済みのSDカード（メーカー／型番／容量）

SDメモリーカード（東芝／SD-B001GT4／1GB、東芝／SD-B002GT4／2GB）

SDHCメモリーカード（東芝／SD-C16GT4／16GB、東芝／SD-C32GT4／32GB）

メモリースティック

本書では、以下のものをまとめて「メモリースティック」と呼んでいます。

メモリースティック、メモリースティック Duo	最大128MBまで
メモリースティック マイクロ／PRO	最大1GBまで
メモリースティック PRO Duo	最大16GBまで
メモリースティック PRO-HG Duo	最大8GBまで

当社で動作確認済みのメモリースティック（メーカー／型番／容量）

メモリースティック マイクロ（SONY／MS-A1GD／1GB）

メモリースティック PRO Duo（SONY／MS-MT16G／16GB）

メモリースティック PRO-HG Duo（SONY／HS-HX4G／4GB）

メモリーカードの取り扱いについて

■ **メモリーカードは大切にお使いください**

· メモリーカードの登録内容は、使いかたを誤ったときや、事故や故障によって、消失または変化してしまうことがあります。大切なデータは控えを取っておかれることをおすすめします（パソコンへコピーするなど）。
なお、データが消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

· メモリーカードは精密電子機器です。強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたり、水にぬらしたりしないでください。

· 高温多湿の場所、またホコリの多いところや腐食性のガスが発生するようなところでの使用・保管はしないでください。

■ **miniSD(miniSDHC)カードやmicroSD(microSDHC)カード、メモリースティック Duo（マイクロ、PRO Duo、PRO-HG Duo）を本体に接続する**

それぞれのカードに付属しているアダプター、または市販のカードアダプターが必要です。アダプターを使用せずにカードを挿入すると取り外せなくなることがありますのでご注意ください。

―＜お知らせ＞―

● 当社で動作確認済みのメモリーカードは当社のサポートページ（http://www.sharp.co.jp/support/）でご確認ください。

● 対応表の範囲内の、すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。

● メモリーカードの種類や保存されているデータによっては、読み込みの時間が3分以上かかることがあります。

その他の機能

お知らせの一覧を表示する（お知らせ）

メッセージ、着信記録の最新のものから表示されます。
留守中などにかかってきた電話※をかんたんに確認することができます。
※ ナンバー・ディスプレイをご契約のときは、相手の方の名前や電話番号が表示されます（着信記録 ☞53～54ページ）。ただし、キャッチホンの場合を除きます。

お知らせを確認する

ホームメニューで［お知らせ］をタッチすると、お知らせの一覧が表示されます。



① NEWマーク
新着や未確認のメッセージがある場合に表示されます。
② メッセージマーク
タッチすると、メッセージを再生します（☞33ページ）。
③ 着信記録マーク
ナンバー・ディスプレイをご契約のときは着信記録マークをタッチすると、相手先にそのままダイヤルできます。

■ **本体の着信記録を使って電話をかける（☞53～54ページ）**

―＜お知らせ＞―
- お知らせの一覧を最新のものから表示するには、日付と時刻の設定をしてください。
- 本体では、ナンバー・ディスプレイを契約していないときでも、着信のあった日付・時刻を表示します。
- 本体では、「非通知お断り」「公衆電話お断り」「表示圏外お断り」「お断り番号」を設定している場合も、着信記録が表示されます。子機では表示されません。
- 各種お断りに設定した番号からかかってきたときもお知らせに表示されます。
- メッセージの場合は、着信記録も同時に表示されることがあります。

音の設定を変える（子機）

子機から鳴る音の音量や種類などを設定できます。

着信音の大きさを変える／鳴らさないようにする

電話がかかってきたときの着信音の大きさを変えたり、着信音を鳴らさないようにすることができます。

1 決定（メニュー）を押し、（∧∨）で［チャクシン オンリョウ］を選ぶ

2 決定（メニュー）を押し、（∧∨）で着信音量を５段階の音量、または［キリ］（着信音を鳴らさないようにする）から選ぶ

・はじめは［３／５ダンカイ］に設定されています。
・［キリ］にすると、ディスプレイに 着信音切 が表示されます。

3 決定（メニュー）を押す

―＜お知らせ＞―

- 着信音を鳴らさない設定にしていても、他の子機から内線呼び出しがあったときは、［1／5ダンカイ］の音量で鳴ります。
- 着信音を鳴らさない設定をしているときは、外から電話がかかってきても着信音は鳴りません。
- 本体では着信音は鳴りません。

着信音の種類を変える

電話がかかってきたときに鳴る着信音の種類を変えることができます（10種類）。ただし、他の子機からの呼出音は変わりません。

1 決定(メニュー) を押し、(∧∨) で［チャクシンオンセンタク］を選ぶ

2 決定(メニュー) を押し、(∧∨) で着信音の種類を選ぶ

・選択している着信音がスピーカーから鳴りますので、音を聞きながら設定してください。

1：プルルル プルルル	2：ポロロロ ポロロロ
3：ピロン ピロン	4～8：ショートメロディ1～5
9：ジムノペディ	10：ジュピター

・はじめは「プルルル プルルル」に設定されています。

3 決定(メニュー) を押す

受話音量を変える

通話中に受話口から聞こえる音量を変えることができます。

1 通話中に (∧∨) を押して音量を選ぶ（5段階）

・はじめは［3／5ダンカイ］に設定されています。

通話音質を変える

受話口から聞こえてくる音質を変更できます。

1 通話中に (⤼) を押す（押すごとに切替）

○［タカイ］（高音を強調する）
○［ヒクイ］（低音を強調する）
○［フツウ］

・［フツウ］を選ぶと「ピピッ」と鳴ります。
・通話を終了しても設定は変わりません。

スピーカー音量を変える

スピーカー通話中やメッセージ再生時などに、スピーカーから聞こえる音量を変えることができます。

1 (スピーカー) を押す

2 (∧∨) を押して音量を選ぶ（5段階）

・はじめは［3／5ダンカイ］に設定されています。

IP電話やADSL、ISDN（INSネット64）などをご利用のときに、電話の音量が大きくなりすぎて聞こえにくくなることがあります。

日付と時刻を設定する

設定した日時に誤差が生じたときなど、日付と時刻を設定することができます。本体の日付と時刻を設定すると、自動的に子機に転送されます。

本体の日付と時刻を合わせる

日付や時刻表示を合わせるときは、次の操作を行います。

1 **画面をタッチしてホームメニューにし、[設定] をタッチする**

2 **[時計アラーム設定] → [日付・時刻] の順にタッチする**

3 **日付を入力する**

・1ケタの数字のときは頭に0を入力してください。
・2010年4月12日に設定したいときは、「20100412」と入力してください。
・変更したい数値をタッチして年・月・日をそれぞれ単独で変更することもできます。

4 **時刻を入力する**

・時刻は、24時間制で入力します。
・変更したい数値をタッチして時・分をそれぞれ単独で変更することもできます。

5 **[時計設定] をタッチする**

・本体の日付や時刻を登録すると、自動的に子機に日付や時刻が転送されます。子機に日付や時刻を登録していても、自動的に本体の日付・時刻設定が転送されて子機に上書きされます。

■ 日付・時刻を間違って入力したときは

間違えた日付・時刻の数値をタッチして、あらためて入力してください。

■ 停電などで本体の日時登録が消えたときは

電源が入ると、自動的に子機から日付や時刻を転送して、本体の日時を登録します。

■ 子機の日付と時刻を合わせる

子機の日時を合わせるとディスプレイに時刻を表示します。

① 決定(メニュー) を押す

② (∧∨) で［システムセッテイ］を選び、決定(メニュー) を押す

③ (∧∨) で［ヒヅケ・ジコク］を選び、決定(メニュー) を押す

④ ダイヤルボタンで日付を入力する
・1ケタの数字のときは頭に0を入力してください。
・2010年4月12日に設定したいときは、「20100412」と入力してください。

⑤ ダイヤルボタンで時刻を入力する
・時刻は、24時間制で入力します。

⑥ 決定(メニュー) を押す

―＜お知らせ＞―

● 時計の精度は、1カ月に±60秒程度の誤差があります（25℃の常温の場合）。時刻表示は、めやすとしてご利用ください。誤差が生じた場合は設定をやり直してください。

迷惑電話をお断りする（迷惑電話拒否機能）

セールスや勧誘、無言電話などの迷惑電話を受けたとき、電話を切りやすく（チャイムでお断り、メッセージでお断り）することができます。

○ チャイムでお断り

チャイムが鳴るので、「すみません、来客ですので失礼します」などと伝えて電話を切るきっかけを作ります。

○ メッセージでお断り

「この電話はお受けすることができません」と3回流れ、自動的に電話が切れます。

本体でお断りする

1 **通話中に使用したいお断りの種類を**
○ [チャイムでお断り]
○ [メッセージでお断り]
から選ぶ

子機でお断りする

1 **通話中に 決定(メニュー) を押す**

2 **(上下) でお断りの種類を**
○ [チャイムデオコトワリ]
○ [メッセージオコトワリ]
から選び、決定(メニュー) を押す

■ **間違えて操作したときは**
「メッセージでお断り」の操作をしたときは、お断りメッセージが流れている間に (切) または (スピーカー) を押します。

ナンバー・ディスプレイ（☞52ページ）の契約をしていると…

メッセージでお断りをした場合は…

○ **相手の方が電話番号を通知していたときは…**
電話が切れたあと、自動的にその番号をお断り番号（☞55ページ）に登録し、以降の同じ番号からの着信をお断りします。

○ **相手の方が非通知／公衆電話／表示圏外からの電話のときは…**
非通知・公衆電話・表示圏外からの着信があった場合は、約2時間、同じ種別の着信をお断りします。

設定後、相手から電話があったときは…
本機側：子機の着信音は鳴りません。
相手側：かけてきた相手の電話に合わせたお断りメッセージが流れ、自動的に電話が切れます。

■ **間違って相手先の番号がお断り番号として登録されてしまったときは**
登録されてしまったお断り番号を消去してください（☞56ページ）。

■ **間違って非通知・公衆電話・表示圏外のお断りが設定されてしまったときは**
非通知・公衆電話・表示圏外のお断り設定を、[設定しない] にしてください（☞55ページ）。

子機と子機の間でお話しする（内線通話）

子機と子機の間でお話しすることができます。通話料はかかりません。

子機から子機を呼び出してお話しする

内線通話は、子機を2台以上お使いのときにご使用になれます。

1 **子機を充電部から取り、内線/消去(保留) を押す**

2 **相手の子機の内線番号（ (1ア) ～ (4タ) ）を押す**
- 約30秒呼び出しを続けると、自動的に呼び出しをやめます。
- 子機の内線番号は、子機のディスプレイに表示している番号です。相手の子機が使用者名を登録（☞50ページ）していると、その名前が表示されます。
  通話したい子機の使用者名を (上下) で選んで 決定(メニュー) を押してください。
- 一斉呼び出しはできません。

3 **相手の方とお話しする**
- 子機と子機の間での内線通話は本体を通して行われますので、子機と子機が近くても、どちらかが本体から離れているときは、通話できないことがあります。

4 通話が終わったら (内線ボタン) を押す、または充電部に戻す

■ 内線通話を受ける

① 呼出音が鳴ったら、子機を充電部から取る

・子機を充電部に置いていないときは、(通話ボタン) を押してください。

② 相手の方とお話しする

③ 通話が終わったら (内線ボタン) を押す、または充電部に戻す

● 内線通話に出られないときは、呼出音が鳴っているときに (内線ボタン) を押してください。呼出音が止まります。また、呼び出した側は「ピピピピ」と鳴って終了します。

■ 内線通話中に外から電話がかかってきたら

スピーカーから「ピピッ ピピッ」という音が、それぞれ聞こえます。

① (内線ボタン) を押す

② 子機の着信音が鳴ったら、(通話ボタン) を押す

―＜お知らせ＞―

● 内線通話では、保留はできません。
● 内線通話の着信音の種類を変えることはできません。
● 子機の着信音量を〔キリ〕に設定していても、内線通話の着信音は〔1／5ダンカイ〕の音量で鳴ります。
● 内線通話でスピーカーホンにすると、相手側で声が響いて聞こえにくいことがあります。

電話をとりつぐ／3人で電話でお話しする（3者通話）

電話がかかってきたときに、子機から他の子機へと電話をとりつぐことができます。また、外の相手の方とお話し中に、内線電話と外の相手との３人でお話しすることもできます。
子機と子機での内線通話は、子機を2台以上お使いのときにご使用になれます。

子機で通話中に内線で呼び出してとりつぐ／3者通話する

1 通話中に子機の 内線/消去 (保留) を押す

・相手の方は保留状態になります。

2 とりつぎ／3者通話したい相手の子機の内線番号（ (1ア) ～ (4タ) ）を押す

・呼び出された子機は、呼出音が鳴ったら、充電部から子機を取ってください（子機を充電部に置いていないときは (通話ボタン) を押してください）。
・呼び出し中、または通話中に外線通話に戻るときは、内線/消去 (保留) を2回押してください。または 内線/消去 (保留) を押したあと、(通話ボタン) を押してください。
・約30秒呼び出しを続けると、自動的に呼び出しをやめます。
・子機の内線番号は、子機のディスプレイに表示している番号です。相手の子機が使用者名を登録（☞50ページ）していると、その名前が表示されます。
通話したい子機の使用者名を (上下ボタン) で選んで 決定 (メニュー) を押してください。
・内線通話に出られないときは、呼出音が鳴っているときに (内線ボタン) を押してください。呼出音が止まります。また、呼び出した側は「ピピピピ」と鳴って終了します。

3 内線通話でお話しする

○ 電話をとりつぐときは：
電話をとりつぐことを伝え、(内線ボタン) を押す
○ 3者通話するときは：手順4へ

4 決定 (メニュー) を押し、外の相手の方と3人でお話しする

・呼び出された子機で 決定 (メニュー) を押しても、3者通話はできません。
・内線の一方が電話を切っても、もう一方の子機は続けて外線と通話ができます。
・3者通話中は、保留を行うことができません。3者通話している子機と子機のうち、どちらかが通話をやめた場合は、保留を行うことができます。

■ 電話を自分ひとりでとりつぐ（ひとり転送）

複数の子機をお使いのときは、かかってきた電話を自分ひとりで子機から他の子機にとりつぐことができます。

① 通話中に子機の 内線/消去 保留 を押す
② 子機を充電部に戻す、または を押す
③ 他の子機を充電部から取り、 を押す
④ 相手の方とお話しする

—＜お知らせ＞—
● 着信音を鳴らさない設定にしていても、内線からの着信音は「プルルル、プルルル」と鳴ります。

携帯電話へおトクにかける（携帯とくとくダイヤル機能）

携帯電話へ電話をかけるとき、番号の前に「事業者識別番号」（例：NTTコミュニケーションズ 0033など）を付けてダイヤルすることにより、各社の電話料金を比べて、安い料金を選ぶことができます。携帯電話への通話料金がおトクになるサービスとして、各社が実施しています※。

電源を入れたあとに設定していれば（☞15～16ページ）、そのままお使いください。設定を変えたいときは、右記の手順で設定してください。

ひかり電話（NTT東日本、NTT西日本の光回線電話）では、電話会社(通信事業者)を指定して電話をかけることができません。そのため、携帯とくとくダイヤルはご利用になれませんので、設定しないでください（[使用しない] のままでお使いください)。

IP電話をご利用の方へ

IP電話（ひかり電話などを除く）をご利用の場合、携帯とくとくダイヤルをご利用になりたいときは、携帯電話に発信するときだけ、NTTなどの一般回線で発信する必要があります。

携帯電話に発信するときだけ自動的に一般回線にするときは、「携帯とくとくダイヤル機能を設定する」（☞下記）の手順7でIP電話解除番号を登録してください。

※ 通話料金、事業者識別番号、サービス内容については、サービスを実施している各通信事業者へ詳細をご確認ください。

携帯とくとくダイヤル機能を設定する

事業者識別番号を登録することで、自動的に「事業者識別番号」を付けて発信することができます。

1 画面をタッチしてホームメニューにし、[設定] をタッチする

2 [電話設定] → 次ページキー（ ）→ [携帯とくとくダイヤル] の順にタッチする

3 携帯とくとくダイヤルを
○ 使用するときは：[はい] をタッチする → 手順4へ
○ 使用しないときは：[いいえ] をタッチする（設定終了）

その他の機能

4 携帯とくとくダイヤルを使用したい事業者をタッチする

○ NTTコミュニケーションズ0033を選ぶときは：
　[NTTコミュニケーションズ] をタッチする
　→ 手順6へ

○ その他事業者を選ぶときは：
　[その他事業者（識別番号入力）] をタッチする
　→ 手順5へ

5 事業者識別番号を入力し、[事業者識別番号登録] をタッチする（最大6ケタ）

・事業者識別番号とは、他の事業者の回線を通じて電話をかけるときにダイヤルしなければならない番号のことです。

6 IP電話を

○ 利用しているときは：[はい] をタッチする → 手順7へ

○ 利用していないときは：[いいえ] をタッチする

7 IP電話解除番号を入力し、[IP電話解除番号登録] をタッチする（最大6ケタ）

・「IP電話解除番号」は、各IP電話事業者の指定する番号を入力してください（わからない場合は、各IP電話事業者にお問い合わせください）。

■ 一時的に携帯とくとくダイヤル機能を利用しないときは

解除番号「0000」を発信の前にダイヤルすると、事業者識別番号は発信されません。

NTT東日本、NTT西日本のサービス提供エリア外から電話をかけたときや、事業者識別番号が正しく入力されていないときは、正しく電話がかからないことがあります。

■ 携帯とくとくダイヤルの対象番号を追加する（「携帯とくとくダイヤルで利用する携帯番号帯登録」）

携帯とくとくダイヤル機能の利用対象となる携帯電話の番号先頭4ケタとしてあらかじめ登録されているのは「0801」から「0809」までの9件と、「0901」から「0909」までの9件の、合計18件です。この対象番号は追加して登録することができます。番号を追加するときは、あらたに登録してください。番号は最大10件まで登録できます。

① 画面をタッチしてホームメニューにし、[設定] をタッチする
② [電話設定] → 次ページキー（ ）→ [携帯番号帯登録] の順にタッチする
③ [タッチして登録してください] をタッチし、対象となる携帯電話の先頭４ケタの番号を入力して、[携帯番号帯登録] をタッチする

● 追加した番号を消去するときは、③で消去する番号をタッチして、[はい] をタッチしてください。

■ 携帯とくとくダイヤルの設定を確認する（携帯とくとくダイヤル機能の設定内容表示）

携帯とくとくダイヤル機能の利用設定および、IP電話の利用設定を確認することができます。

① 画面をタッチしてホームメニューにし、[設定] をタッチする
② [電話設定] → 次ページキー（ ）→ [携帯とくとく設定内容表示] の順にタッチする
③ 確認が終わったら、[戻る] をタッチする

—＜お知らせ＞—

● 通話料金、事業者識別番号、サービス内容については、サービスを実施している各通信事業者にお問い合わせください。
● 通話先･通話時間や発信事業者の料金プラン等によっては、一部安くならない場合があります。
● 携帯電話事業者の留守番電話サービスなど、一部ご利用いただけない番号があります。
こんなときは「0000」をダイヤルしてからご利用ください。
● 本サービスを利用した場合、携帯電話への通話料金は、利用した事業者から請求されます。
● 本サービスは、マイラインの対象になりません。
● 他のサービスと同時には、ご利用になれないことがあります。詳しくは、各通信事業者にお問い合わせください。

子機で通話内容を録音する（今から録音）

通話内容のメモの代わりに通話中の内容を録音することができます。
すべての録音を合わせて、最大約10分間または最大30件まで録音できます。

「今から録音」する

1 通話中に子機の 決定(メニュー) を押す

・録音の操作音は鳴りませんので、相手の方には録音をはじめたことがわかりません。

2 (^/v) で ［ツウワ ロクオン］ を選び、決定(メニュー) を押す

3 録音が終わったら 決定(メニュー) を押す

・メモリーがいっぱいになるとエラー音が鳴って自動的に終了します。
・日時と件数が自動的に録音されます（日時スタンプ機能）。

■ **通話が終わったあとで録音内容を再生する（☞33ページ）**

■ **録音内容を消去する（☞34ページ）**

■ **子機で ［ホゾンチュウ］ と表示されているときは**
録音した内容を未再生録音として、メモリーに保存しています。保存が終了すると、続けて「今から録音」することができます。

＜お知らせ＞
● 内線通話を使用しているときは、通話内容を録音することができません。

本体をもっと便利に使う

■ **キーロック**
本体の操作を効かないようにして、本体のお手入れ中や、お子様がお手を触れたときなどの誤動作を防止できます。

キーロックを設定する
① 画面をタッチしてホームメニューにし、［設定］ をタッチする
② ［キーロック］ をタッチする
● キーロック中は画面に「キーロック中です。解除は ① と ② を順番にタッチしてください。」と表示されます。
● この画面で何もタッチせずに 3 分経過するとフォトスライドがはじまります。フォトスライド画面で画面をタッチするとキーロック画面になります。
● キーロックは本体のみの操作です。キーロックを設定しても、子機の操作はロックできません。

キーロックを解除する
① 画面に「キーロック中です。解除は ① と ② を順番にタッチしてください。」と表示されているときに、画面に表示されている 1 と 2 を順にタッチする
● 電話着信時は一時解除されます。

■ **ディスプレイの明るさの調整**
液晶ディスプレイの明るさを調整することができます。
工場出荷時の設定は ［3］ です。
① 画面をタッチしてホームメニューにし、［設定］ をタッチする
② ［ディスプレイフォトスライド設定］ → ［表示明るさ］ の順にタッチする
③ ［1］ ～ ［5］ から設定したい内容を選ぶ
● 液晶ディスプレイのバックライトの輝度は、使用時間に応じて低下します。液晶ディスプレイの明るさを明るくして使用すると、バックライトの輝度の低下が早まります。

■ 表示切／入時刻設定

表示切／入時刻を設定することで、省エネルギーに配慮した使いかたができます。
表示切／入時刻に設定した時刻になると、自動的に液晶ディスプレイが消灯／点灯します。
工場出荷時の設定は〔設定しない〕です。

① 画面をタッチしてホームメニューにし、〔設定〕をタッチする
② 〔ディスプレイフォトスライド設定〕➞〔表示切／入時刻〕の順にタッチする
③ 〔設定する〕〔設定しない〕から設定したい内容を選ぶ

〔設定する〕にしたときは
表示切／入時刻設定の〔00:00〕～〔23:00〕の間から設定したい内容を選ぶ

● 表示切／入時刻の設定をする前に、必ず時刻を設定してください。
● 通話中や操作中は表示切時刻になっても消灯しません。操作終了後、自動的に液晶ディスプレイが消灯します。
● 設定した表示切時刻になって液晶ディスプレイが消灯していても、電話を着信したり、画面を操作したりすると、液晶ディスプレイが点灯します。そのあと、何も操作せずに約3分経過すると再び消灯します。

■ 連続表示時間

液晶ディスプレイを表示する時間を設定します。何も操作せずに設定した時間が経過すると、液晶ディスプレイが消灯します。
工場出荷時の設定は〔3時間〕です。
「表示切／入時刻設定」（☞上記）をしている場合は、表示切／入時刻設定が優先されます。

① 画面をタッチしてホームメニューにし、〔設定〕をタッチする
② 〔ディスプレイフォトスライド設定〕➞〔連続表示時間〕の順にタッチする
③ 〔5分〕〔30分〕〔1時間〕〔3時間〕〔常時表示〕から設定したい内容を選ぶ

● この設定によって液晶ディスプレイが消灯していても、電話を着信したり、画面を操作したりすると、液晶ディスプレイが点灯します。そのあと、設定した時間が経過すると再び消灯します。
● 液晶ディスプレイのバックライトの輝度は、使用時間に応じて低下します。液晶ディスプレイの表示時間を長くして使用すると、バックライトの輝度の低下が早まります。

■ アラーム

設定した時間になると「ピピッ…」と鳴ってお知らせします。朝の目覚ましなどに使用すると便利です。
工場出荷時の設定は〔設定しない〕です。

① 画面をタッチしてホームメニューにし、〔設定〕をタッチする
② 〔時計アラーム設定〕➞〔アラーム〕の順にタッチする
③ 〔設定する〕をタッチする
④ 時刻を入力する
　・時刻は、24時間制で入力します。
　・変更したい数値をタッチして時・分をそれぞれ単独で変更することもできます。
⑤ 〔アラーム設定〕をタッチする

● 設定を解除する場合は、③で〔設定しない〕をタッチしてください。

■ キッチンタイマー

設定した時間が経過すると「ピピッ…」と鳴ってお知らせします。

① 画面をタッチしてホームメニューにし、〔設定〕をタッチする
② 〔時計アラーム設定〕➞〔キッチンタイマー〕の順にタッチする
③ 〔分〕と〔秒〕をタッチしてタイマーを設定する
　・〔分〕をタッチするごとに0～12分の間で設定します。
　・〔秒〕をタッチするごとに10秒ごとに00～50秒の間で設定します。
④ 〔スタート〕をタッチする

● 途中で設定をキャンセルする場合は、画面の〔キャンセル〕をタッチしてください。
● アラーム音を止める場合は、画面をタッチしてください。
● 電話を着信したり、子機を操作したりすると、タイマーがキャンセルされることがあります。

■ カウントダウンタイマー

記念日などを設定するとその日まであと何日かを表示します。
工場出荷時の設定は〔設定しない〕です。

① 画面をタッチしてホームメニューにし、〔設定〕をタッチする
② 〔時計アラーム設定〕→〔カウントダウンタイマー〕の順にタッチする
③ 〔設定する〕をタッチする
④ 日付を入力する
  ・1ケタの数字のときは頭に0を入力してください。
  ・2010年4月12日に設定したいときは、「20100412」と入力してください。
  ・変更したい数値をタッチして年・月・日をそれぞれ単独で変更することもできます。
⑤ 〔カウントダウンスタート〕をタッチする
  ・フォトスライドがはじまり、画面右下に〔あと何日〕と表示されます。

● 設定を解除する場合は、③で〔設定しない〕をタッチしてください。

子機をもっと便利に使う

■ クイック通話

子機を充電部から取り上げるだけで電話を受けられる機能の設定ができます。
工場出荷時の設定は〔セッテイ〕です。

① 決定/メニュー を押す
② で〔システムセッテイ〕を選び、決定/メニュー を押す
③ で〔クイックツウワ〕を選び、決定/メニュー を押す
④ で〔カイジョ〕または〔セッテイ〕を選び、決定/メニュー を押す

● クイック通話を〔カイジョ〕に設定すると、子機を充電部から取り上げても、本体は電話帳などを自動的に表示しません。

■ キータッチ音出力

子機のボタンを押したときに鳴る、「ピッ」という音（キータッチトーン）の有無を設定できます。
工場出荷時の設定は〔アリ〕です。

① 決定/メニュー を押す
② で〔システムセッテイ〕を選び、決定/メニュー を押す
③ で〔キータッチ オン〕を選び、決定/メニュー を押す
④ で〔ナシ〕または〔アリ〕を選び、決定/メニュー を押す

■ 電波サポート

子機の電波状況が悪くて雑音が入るときに設定すると改善される場合があります。
ただし、連続通話時間が約5時間から以下のようになります。

〔ジドウ〕　：最大約4～5時間
〔カイジョ〕：最大約5時間
〔セッテイ〕：最大約4時間

工場出荷時の設定は〔ジドウ〕（電波状況が悪いときに自動的に電波サポートを行う設定）です。

① 決定/メニュー を押す
② で〔システムセッテイ〕を選び、決定/メニュー を押す
③ で〔デンパサポート〕を選び、決定/メニュー を押す
④ で〔ジドウ〕、〔カイジョ〕または〔セッテイ〕を選び、決定/メニュー を押す

■ 使う人の名前を子機に登録する(使用者表示)

子機に使う人の名前を登録することができます。
登録した名前は、待受時にディスプレイに表示されます。

① 決定（メニュー）を押す

② （上下）で［システムセッテイ］を選び、決定（メニュー）を押す

③ （上下）で［シヨウシャヒョウジ］を選び、決定（メニュー）を押す

④ ダイヤルボタンで名前を入力する（半角9文字まで）（☞25 ～ 26、28ページ）

⑤ 決定（メニュー）を押す

● 子機に登録した名前を消去するときは、④で入力した文字を 内線/消去（保留）ですべて消してから、決定（メニュー）を押してください。

■ 液晶濃度調整

液晶ディスプレイの表示の濃さをお好みに合わせて16段階に調整できます。

① 決定（メニュー）を押す

② （上下）で［システムセッテイ］を選び、決定（メニュー）を押す

③ （上下）で［LCDコントラスト］を選び、決定（メニュー）を押す

④ （上下）で調整して、決定（メニュー）を押す

■ キーロック

子機のボタンを効かないようにして、電話を受ける以外の操作をできないようにすることができます。
子機のお手入れ中や、お子様がお手を触れたときなどによる誤動作を防止できます。

キーロックを設定する

① 待受画面で（#🔒）を［キーロック セッテイシマシタ］と表示されるまで押し続ける（3秒以上）

● キーロックを解除するまで、電話を受ける以外の操作はできません。
● キーロックは本体、子機それぞれで設定します。子機でキーロックを設定しても、本体や他の子機の操作はロックできません。

キーロックを解除する

① キーロックを設定しているときに（#🔒）を［キーロック カイジョシマシタ］と表示されるまで押し続ける（3秒以上）

キャッチホン／キャッチホン・ディスプレイ（子機）

キャッチホン（通話中着信サービス）は、電話でお話しをしているときでも、別の人からかかってきた電話に出ることができるNTTのサービスです。
キャッチホン・ディスプレイは、通話中にかかってきた相手の方の番号を確認してからキャッチホンに出ることができるNTTのサービスです。
ご利用には**NTTとの契約（有料）**が必要です。詳しくはNTT窓口へお問い合わせください。

キャッチホンを利用する

1 **通話中に着信音が聞こえたら子機の カナ（キャッチ）を押す**

2 **元の通話に戻るときはもう一度 カナ（キャッチ）を押す**

■ キャッチホンを利用すると電話が切れてしまうときは／切り替わらないときは
キャッチホンの切替時間を変えることができます（「キャッチホン切替時間」☞68ページ）。

■ キャッチホン・ディスプレイの設定をする
ご利用にはNTTとの契約（有料）が必要です。詳しくはNTT窓口へお問い合わせください。

① 画面をタッチしてホームメニューにし、［設定］をタッチする
② ［特別設定］→［キャッチホン・ディスプレイ］の順にタッチする
③ ［使用する］［使用しない］から設定したい内容を選ぶ

＜お知らせ＞
● キャッチホンでの通話中は、迷惑電話拒否機能（☞42ページ）は働きません。

子機を増やす

子機を増設する

● 増設できる子機の台数は、付属の子機と合わせて最大４台までです。
● **増設できる子機はJD-KS17、JD-KS18です**（☞66ページ）。
他の子機は増設できませんのでご注意ください（2010年2月現在）。
● 増設登録中は、電話を受けることを含むすべての操作を行うことができません。

別売の増設子機は、下記の操作で増設してください。

● 増設子機を本体のそばに用意してから操作してください。
● 操作の前に、増設子機を十分に充電してください。
● 増設後は、クイック通話を［セッテイ］にしてください。操作のしかたは、増設子機に付属の取扱説明書をご覧ください。

1 画面をタッチしてホームメニューにし、[設定] をタッチする

2 [特別設定] → [子機増設] の順にタッチする

3 子機で増設の操作を行う
例：JD-KS18の場合
①背面の充電池ふたを取り外し、充電池をはずす
②再び充電池を入れて、充電池ふたを取り付ける
③「子機 増設しますか？」と表示されたら、10秒以内に 決定（メニュー） を押す
・ 表示が出ないときは、充電池を取り外すところからやり直してください。
詳しくは、増設子機に付属の子機増設登録操作説明書をご覧ください。

4 本体で [子機を増設する] をタッチする

■ 子機を減設する
① 画面をタッチしてホームメニューにし、［設定］をタッチする
② ［特別設定］→［子機増設］の順にタッチする
③ ［子機を減設する］をタッチする
④ 減設したい子機を選ぶ

ナンバー・ディスプレイ

ナンバー・ディスプレイを利用する

ナンバー・ディスプレイサービスとは

電話がかかってきたときに相手の方の電話番号を表示部に表示させるサービスです。ご利用には、NTTとのご契約が必要です（有料）。ナンバー・ディスプレイサービスを使うことで、本機の「着信鳴り分け」機能をご利用いただけます。

ナンバー・ディスプレイを契約すると…

○ **電話がかかってくると、相手の方の電話番号をディスプレイに表示します。**

本体の表示	子機の表示	着信情報
電話番号と	電話番号	電話帳に登録されていない相手の方が自分の番号を通知して電話をかけてきた場合
相手の方の名前と写真またはイメージ	相手の方の名前や番号	電話帳に登録されている相手の方が電話をかけてきた場合

○ **相手の電話番号がわからないときは、以下のように表示します。**

本体の表示	子機の表示	着信情報
	[ヒツウチ]	相手の方が自分の番号を通知せずに電話をかけてきた場合
	[ヒョウジケンガイ]	相手の方が番号通知ができない地域や回線からかけてきた場合
	[コウシュウデンワ]	相手の方が公衆電話を使ってかけてきた場合
	[チャクシン]	相手の方の着信情報が受信できなかった場合

ナンバー・ディスプレイを利用するには

＜NTTをご利用の場合＞

NTTと契約する（有料） → 本機の設定は、必要ありません → NTTの工事終了後にサービスが利用できます

- 下記NTT窓口にお申し込みください。
- 工場出荷時は［使用する］に設定されています。
- 工事日数については、下記NTT窓口にお問い合わせください。

ナンバー・ディスプレイサービス、キャッチホン・ディスプレイサービスに関するお問い合わせ、お申し込み先

NTT窓口
TEL：局番なしの
116（通話料金無料）

受付時間
NTT 東日本：9:00～21:00
NTT 西日本：9:00～17:00
土・日・祝も受付（年末・年始は除く）

● 電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります（2010.2）。

＜NTT以外の電話会社をご利用の場合＞

NTTのナンバー・ディスプレイ相当サービスの有無を各ご契約の電話会社にお問い合わせのうえ、お申し込みください。

■ ナンバー・ディスプレイの使用する／使用しないを設定する

工場出荷時は、ナンバー・ディスプレイの設定は［使用する］になっています。

① 画面をタッチしてホームメニューにし、［設定］をタッチする
② ［特別設定］→［ナンバー・ディスプレイ］の順にタッチする
③ ［使用する］［使用しない］から設定したい内容を選ぶ

■ ネーム・ディスプレイを利用する

本機はネーム・ディスプレイのサービス（電話をかけてきた方の名前や会社名をディスプレイに表示させるサービス）をご利用になれます。ネーム・ディスプレイのご利用にはサービスの契約が必要です（詳しくは、局番なしの116にお問い合わせください）。

—<お知らせ>—
- ナンバー・ディスプレイは、NTTの他のサービスと併用して使用できない場合があります。詳しくはNTTへお問い合わせください。
- ISDN 回線のターミナルアダプターのアナログポート・構内交換機（PBX）や他の通信機器に接続すると、ナンバー・ディスプレイが使えない場合があります。このときは［使用しない］に設定してください。

着信記録（着信履歴）を使う

ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です

着信記録として保存された番号を確認することができます。

保存できる着信記録は最大20件までです。20件を超えると、古い着信記録から消去されます。

本体の着信記録を確認する／着信記録を使って電話をかける

1 画面をタッチしてホームメニューにし、[電話] をタッチする

2 [表示切替] → [再ダイヤル] → [着信履歴] の順にタッチする

3 ○ 着信記録を確認するときは：
確認が終わったら、[ホーム] をタッチする
○ 着信記録で電話をかけるときは：
電話をかけたい相手先を選ぶ → 手順4へ

4 子機を充電部から取り、 を押す

5 相手の方とお話しする
・ 通話中は、ディスプレイにおよその通話時間を表示します。

6 通話が終わったら を押す、または充電部に戻す

■ 本体の着信記録をすべて消す（内部メモリーのファイルをすべて消去する（データ消去）☞67ページ）

■ 本体の着信記録を電話帳に登録する（☞23ページ）

—<お知らせ>—
- 着信記録は本体と子機、別々に記録しています。
- 電話に出られなかったり、電話を受ける前に相手が切った場合でも着信記録が表示されます。
- 本体では、「非通知お断り」「公衆電話お断り」「表示圏外お断り」「お断り番号」を設定している場合も、着信記録が表示されます。子機では表示されません。
- 本体では、ナンバー・ディスプレイを契約していないときでも、着信のあった日付・時刻を表示します。
- 本体の着信記録は、1件ずつ消去できません。

子機の着信記録を確認する／着信記録を使って電話をかける

1 子機を充電部から取り、 を押す

2 で番号を選ぶ
○ 着信記録を確認するときは：
確認が終わったら、 を押す、または充電部に戻す
○ 着信記録で電話をかけるときは：手順3へ

3 を押す

4 通話が終わったら を押す、または充電部に戻す

・ 相手の方の番号は20ケタまで記録されています。

■ 子機の着信記録に184（非通知）や186（通知）を付けて電話をかける（特番ダイヤル）

184や186などの番号を、着信記録の前に入れてダイヤルします。

① （着信）を押す

② （上下）で番号を選び、（決定/メニュー）を押す

③ （上下）で［トクバンダイヤル］を選び、（決定/メニュー）を押す

④ 184や186などの番号を入力（8ケタまで）して （通話）を押す

⑤ 通話が終わったら （切）を押す、または充電部に戻す

■ 子機の着信記録を1件ずつ消す

① （着信）を押す

② （上下）で消去したい番号を選び、（決定/メニュー）を押す

③ （上下）で［ショウキョ］を選び、（決定/メニュー）を2回押す

■ 子機の着信記録をすべて消す

① （決定/メニュー）を押す

② （上下）で［ゼンショウキョ］を選び、（決定/メニュー）を押す

③ （上下）で［チャクシンキロク］を選び、（決定/メニュー）を2回押す

—<お知らせ>—

● 着信記録は本体と子機、別々に記録しています。

着信の種類によって子機の着信音を変える（着信鳴り分け）

ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です

電話がかかってきたとき、着信の種類に合わせて着信音を変えることができます。

「電話帳に登録している方」、「非通知」（電話番号を通知せずにかけてきた電話 ☞52ページ）、「公衆電話」、「表示圏外」（電話番号を通知できない地域や回線からかけてきた電話 ☞52ページ）の着信の種類に合わせて着信音を変えることができます。はじめは設定されていません。

着信鳴り分けを設定したとき

着信鳴り分けを設定すると、着信の種類に合わせて下記の操作で設定した着信音が鳴ります。それ以外の方からかかってきたときは、あらかじめ設定した着信音（☞41ページ）が鳴ります。

鳴り分けを設定する／着信音を選ぶ

1 子機の （決定/メニュー）を押す

2 （上下）で［チャクシンナリワケ］を選び、（決定/メニュー）を押す

3 （上下）で着信の種類を

○［デンワチョウ］
○［ヒツウチ］
○［コウシュウデンワ］
○［ヒョウジケンガイ］

から選び、（決定/メニュー）を押す

4 ⌃⌄ で着信音を聞きながら選ぶ

・鳴り分け用として設定できる着信音は、「着信音の種類を変える」（☞41ページ）で設定できるものと同じです。

・着信鳴り分けを解除するときは、⌃⌄ で〔カイジョ〕を選んでください（「ピピッ」と鳴ります）。

5 決定（メニュー） を押す

—＜お知らせ＞—

● かかってくる相手の方ごとに着信音を変えることはできません。

非通知・公衆電話・表示圏外からの着信を拒否する（着信お断り）

ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です

「非通知の電話」（電話番号を通知せずにかけてきた電話 ☞52ページ）「公衆電話からの電話」「表示圏外からの電話」（電話番号を通知できない地域や回線からかけてきた電話 ☞52ページ）に対して着信音を鳴らさずに、お断りのメッセージを流すことができます。
工場出荷時は設定されていません。

非通知／公衆電話／表示圏外お断り

1 画面をタッチしてホームメニューにし、[設定] をタッチする

2 [電話設定] をタッチする

3 [非通知お断り] [公衆電話お断り] [表示圏外お断り] から設定したいお断りをタッチする

4 [お断り設定する] をタッチする

・〔非通知お断り〕を〔お断り設定する〕に設定すると、非通知の電話には、「恐れ入りますが、電話番号の前に186を付けてダイヤルするなど、番号を通知しておかけ直しください」と３回流れて電話が切れます。

・〔公衆電話お断り〕、〔表示圏外お断り〕を〔お断り設定する〕に設定すると、公衆電話または表示圏外からの電話には、「この電話は、お受けすることはできません」と３回流れて電話が切れます。

—＜お知らせ＞—

● お断りの設定をした相手からの電話は、緊急の用件でも着信音が鳴りませんのでご注意ください。

● お断り設定をした相手からの電話は、本体にのみ着信記録が残ります。

特定の番号からの着信を拒否する（特定番号お断り）

ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です

電話を受けたくない相手先の電話番号を、「お断り番号」として30件まで登録することができます。
登録した相手先から電話がかかってくると、着信音を鳴らさずに、相手先へお断りのメッセージを流すことができます。

お断りしたい番号を登録する

1 画面をタッチしてホームメニューにし、[設定] をタッチする

2 [電話設定] → [お断り番号登録] → [タッチして登録してください] の順にタッチする

3 電話番号を入力し、[電話番号登録] をタッチする（最大20ケタ）

・ お断り番号を登録すると、登録した相手の方からの電話には、「この電話は、お受けすることができません」と3回流れて電話が切れます。

■ 登録したお断り番号を１件ずつ消す

① 画面をタッチしてホームメニューにし、〔設定〕をタッチする
② 〔電話設定〕→〔お断り番号登録〕の順にタッチする
③ 消去したい電話番号を選び、〔はい〕をタッチする

■ 登録したお断り番号をすべて消す（内部メモリーのファイルをすべて消去する（データ消去）☞67ページ）

―＜お知らせ＞―

- お断り番号に登録されている相手からの電話は、緊急の用件でも着信音が鳴りませんので、ご注意ください。
- お断り設定をした相手からの電話は、本体にのみ着信記録が残ります。

電話がかけられない

どこにも電話がかけられない

取り付けの手順に従って、ACアダプターと電話機コードが正しくつながっているかを確かめます（☞14ページ）。

本機を設置時に、ご契約の回線種別に自動で設定されますが、まれに正しく設定されないことがあります。

ご契約の回線種別を確認して手動で変更します（☞17ページ）。

電話をかけて、つながったらそのままお使いください。
特定の番号や携帯電話にかけられないときは、「特定の番号にかけられない」（☞右記）や「携帯電話にかけられない」（☞58ページ）をご覧ください。

それでもつながらない

引っ越しの直後など回線の工事が完了していないことがあります。
ご契約と工事の日程を確認してください。

特定の番号にかけられない

例：フリーダイヤル（0120～）、ナビダイヤル（0570～）など

IP電話（ADSLなど）または光電話（NTTのひかり電話など）のどちらかを契約されていますか？

光電話（NTTのひかり電話など）を契約している

光電話（NTTのひかり電話など）を契約している場合は、一部のサービスの番号にかけることができません。

詳しくは、ご契約の光電話会社にご確認ください。

IP電話（ADSLなど）を契約している

NTTなどの一般加入回線も同時に契約されていますか?

契約していない

NTTなどの一般加入回線を同時に契約していない場合は、フリーダイヤルやナビダイヤルにかけることができません。

詳しくは、ご契約のIP電話会社にご確認ください。

契約している

本機を設置時に、ご契約の回線種別に自動で設定されますが、まれに正しく設定されないことがあります。

ご契約の回線種別を確認して手動で変更します（☞17ページ）。

それでもつながらない

一般加入回線を選択するための「IP電話解除番号」をダイヤルしないとつながりません。

「IP電話解除番号」（☞45ページ）をダイヤルしてからフリーダイヤルなどの番号をダイヤルしてください。

ご契約の電話会社またはサービス会社とは？

通話料金や電話サービスの請求書を送ってくる会社です。

子機の（外線ボタン）を押してからダイヤルや番号の選択に時間がかかると、電話をかけられなくなることがあります。
操作に時間がかかるときは、先にダイヤルや番号選択をしてから子機の（外線ボタン）を押してください。

携帯電話にかけられない

IP電話（ADSLなど）や光電話（NTTのひかり電話など）を契約されていますか？

契約していない

「携帯とくとくダイヤル機能」の設定で電話会社（通信事業者）が合っていないとつながりません。
正しい電話会社（通信事業者）に設定します（☞45ページ）。



光電話（NTTのひかり電話など）を契約している

光電話（NTTのひかり電話など）をご契約の場合、「携帯とくとくダイヤル機能」はご利用になれません。
使用しない設定にしてお使いください（☞45ページ）。

IP電話（ADSLなど）を契約している

NTTなどの一般加入回線も同時に契約している

契約している

「携帯とくとくダイヤル機能」の電話会社（通信事業者）や「IP電話解除番号」が合っていないとつながりません。
正しい電話会社（通信事業者）に設定します（☞45ページ）。

契約していない

「携帯とくとくダイヤル機能」はご利用になれません。
使用しない設定にしてお使いください（☞45ページ）。

携帯電話にかけます（通話料は有料）つながったら、設定は完了です。

●それでもつながらない場合

電話会社によっては、かけられない電話番号や受けられない電話サービスがあります。ご契約の電話会社や電話サービス会社にご確認ください。

相手の声が聞こえにくい

相手の方の声が聞こえにくい

音が小さい／音が大きすぎる

↓

受話音量を調整します（☞41ページ）。

雑音が入る　相手の方の声がとぎれる　音が大きくなったり小さくなったりする

↓

本体との距離や設置場所などお使いの環境をお確かめください。
⇒「本機の取り扱いについて」をご覧ください（☞7〜8ページ）。

それでも雑音が入る場合は

↓

電波干渉を起こしている可能性がありますので、回避チャンネルを変更してみてください（☞68ページ）。

↓

電波干渉を受けているときは、雑音が入ったり通話が切れてしまうことがありますが、いったん電話を切り、もう一度通話してみて、異常がなければ故障ではありません。
また、本体との距離や設置場所などを変えてもう一度お確かめください。

こちら側の声が相手に聞こえにくい

↓

初めてお使いになるときや本体の電源を入れ直した後などでは、通話中に音質を適切にする設定が行われるため、しばらく通話音量が不安定になることがあります。そのままお使いいただくとまもなく安定します。

↓

送話口（マイク）を手でふさいでいませんか？
回線の状態などによって、聞こえにくくなることがあります。

子機が使えない

動作しない

● 充電池のコネクターが外れていませんか？ ⇒正しく接続します。	17
● 充電池の残量が少なくなっていませんか？ ⇒充電部に子機を戻して充電します。	18

電話をかけられない／受けられない

● 本体のACアダプターや電話機コードは正しく接続されていますか？ ⇒ 正しく接続します。	14
● 別の所で他の子機を使用していませんか？ ⇒ 使用が終わってから電話をかけます。	—
● 無線LAN機器やルーターなどを、近くでお使いではありませんか？ ⇒ 本体、子機をそれらの機器からできるだけ離して設置してください。	14
● 停電になっていませんか？ ⇒ 停電のときは電話をかけることはできません。	—
● 子機のディスプレイに〔ケンガイ〕と表示されていませんか？ ⇒ 子機を本体に近づけたあと、（ボタン）を押してください。	—
⇒ 子機の充電池のコネクターを抜き差ししてください。	17
それでも使えないときは ● 本体との距離や設置場所などお使いの環境をお確かめください。 ⇒「本機の取り扱いについて」をご覧ください 。	7〜8
● いっぱいに充電しても数分間の通話ですぐに子機が使えなくなるときは ⇒ 充電池の寿命です。充電池を交換してください。	18
● メッセージの消去など、内部メモリーの処理中は、処理が完了するまで電話を受けることができない場合があります。	—

充電できない

● 充電池は入っていますか？	17
● 充電池のコネクターが外れていませんか？	17
● 充電器の差し込みプラグがコンセントから外れていませんか？ ⇒ 正しく接続します。	18

着信音が鳴らない／留守モードが正しく働かない

着信音が鳴らない

● 着信音を［キリ］にしていませんか？ ⇒ 着信音を大きくします。	40
● 子機のディスプレイに［ケンガイ］と表示されていませんか？ ⇒ 子機を本体に近づけたあと、（ボタン）を押してください。	―
● 各種お断りを設定していませんか？ ⇒ お断りを使用しない設定にします。	55～56

用件録音できない

● 相手の声が小さいときや、用件が短いときは、途中でとぎれたり録音されないことがあります。	―
● メモリーや録音件数がいっぱいになっていませんか？ ⇒ 内部メモリー使用容量や録音件数（最大 30 件）を確認して、不要なメッセージを消去します。	34、67

メモリーカードが使えない

メモリーカードを認識しない

● メモリーカードはしっかりとセットされていますか？ ⇒ メモリーカードは表裏を確認したうえで、しっかりと奥まで差し込んでください。	35
● 使用可能なメモリーカードをお使いですか？ ⇒ 使用可能なメモリーカードをご使用ください。	39
● もう一度メモリーカードを抜き差ししてください。 ⇒ それでも使えない場合は、メモリーカードや本体の読み込み部が故障している可能性があります。	―

メモリーカードの読み込みに時間がかかる

● メモリーカードの種類や保存されているデータによっては、読み込みの時間が3分以上かかることがあります。	―

ナンバー・ディスプレイが使えない

相手の方の番号を表示しない

● ナンバー･ディスプレイを契約していますか？ ⇒ ナンバー・ディスプレイの契約が必要です。 （局番なしの116番へお問い合わせください）	―
● NTTとの契約が済んで、工事は完了していますか？ ⇒ 局番なしの116番へお問い合わせください。	―
● 構内交換機やホームテレホンに接続していませんか？ ⇒ 構内交換機やホームテレホンに接続していると表示できません。	―
● ナンバー･ディスプレイの設定が［使用しない］になっていませんか？ ⇒ ナンバー･ディスプレイを［使用する］に設定してください。	52
● ひかり電話などの光回線やIP電話を利用していませんか？ ⇒ 各契約会社へお問い合わせください。	―
● ISDNをご利用で、ターミナルアダプター（TA）がナンバー･ディスプレイ対応ですか？ ⇒ ターミナルアダプター（TA）がナンバー･ディスプレイ対応でないと表示できません。	―
⇒ ターミナルアダプター（TA）側でナンバー･ディスプレイを［使用する］に設定してください。	―

相手の方の名前を表示しない／着信音が変わらない

● 相手の方の電話番号を市外局番から登録しましたか？ ⇒ 相手の方の電話番号は市外局番から登録しないと鳴り分け機能や名前を表示できません。市外局番から入力してください。	22、24

こちら側の電話番号が相手の方の電話機に表示されない

● こちら側の電話番号を「通常非通知」でご契約されていませんか？ ⇒ こちら側の電話番号を〔通知する〕には相手の方の電話番号の前に「186」をダイヤルしてください。	30
● 相手の方はナンバー・ディスプレイを契約されていますか？ ⇒ 相手の方がナンバー・ディスプレイをご契約されていないと、表示されません。	—

ADSLやひかり電話をご契約の方へ

ひかり電話などの光回線を利用していると…

ナンバー・ディスプレイが動作しない	⇒ ご契約の内容をご確認ください。詳しくは、契約電話会社にお問い合わせください。	—

IP電話／ADSLを利用していると…

ナンバー・ディスプレイが動作しない 電話の声が聞こえにくい・雑音が入る	● スプリッタを含むADSL機器を取り外して、改善されるか確認してください。 また、回線からスプリッタまでの配線を短くして、改善されるか確認してください。 ⇒ 改善されるときは、通信事業者にご相談ください。 ⇒ それでも改善されないときは、シャープお客様ご相談窓口にご相談ください。	— 72

ISDNを利用していると…

音がワンワン響く 音が大きすぎる	● ターミナルアダプターの送話・受話音量を調節してください。 ⇒ それでも改善しないときは、ターミナルアダプターのメーカーへお問い合わせください。	—
ナンバー・ディスプレイが動作しない	● ターミナルアダプターの設定が必要です。 ⇒ ターミナルアダプターの取扱説明書をご覧ください。	—

その他 こまったときは

正しく操作しても動かない／動作がおかしい

● 電話機コードやACアダプター、差し込みプラグが外れていませんか？ ⇒ 電話機コード、ACアダプター、差し込みプラグをしっかりと接続します。	14
● 電源を入れ直すと正常に動作することがあります。 ⇒ それでも改善されないときは、シャープお客様ご相談窓口にご相談ください。	65 72

タッチパネルが正しく反応しない

● タッチに反応する位置がずれているときは、本体の電源を入れ直して、タッチパネルの調整をしてください。	65
● メッセージの消去など、内部メモリーの処理中は、タッチパネルが反応しないことがあります。 ⇒ しばらく待ってから操作し直してください。	—

登録していた日時が自動的に変更される

● 本体の日時登録を変更すると、自動的に子機の日時登録が上書きされます。 ⇒ 本体の日時登録を正しく設定します。	42
● 本体の日時登録が間違っていても、本体の登録が優先されます。	—

画面が突然消灯する

● 連続表示時間で設定されている時間が経過すると、自動的に液晶ディスプレイが消灯します。	48

各種サービスを受けられない

● ひかり電話などの光回線やIP電話では、受けられないサービスがあります。 ⇒ 各契約会社にお問い合わせください。	—

画面にデモ画像が表示される／効果音が流れる

● 商品紹介用のデモモードが起動しています。 ⇒ 回線設定が完了すると、デモモードは起動しません。	17

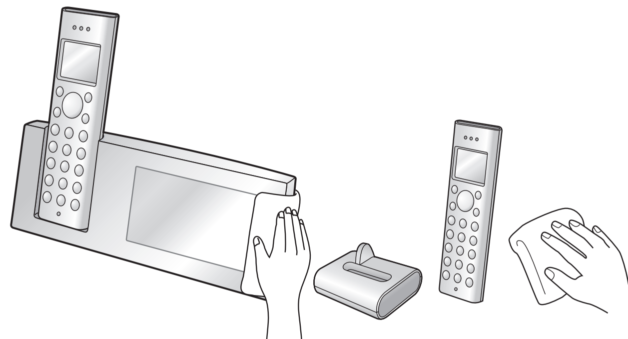
■ 停電になったときは

電話	● 電話を受けたり、かけたりすることはできません。 ● 本体や子機を使用することはできません。 ● 各種サービスは働きません。 ● ナンバー・ディスプレイの着信記録は消えません。 ● 通話中に停電したときは、通話が切れてしまいます。
留守番	● 留守番電話動作中に停電したときは、電話が切れて録音もされません。 ● 停電になっても、録音内容は消えません。
デジタル フォトフレーム	● 停電中は、写真表示できません。 ● 停電になっても、内部メモリーの写真データは消えません。 ● フォトスライドで内部メモリーが選択され、メモリーカードが挿入されているときは、再び電源を入れたときに、メモリーカードの写真が表示されます。
登録した内容	● 電話帳などに登録されている内容は消えません。 ● 日付・時刻の設定は消えてしまいます。 子機の日付・時刻が設定されていて、本体の電波が届く範囲にある場合は、子機から本体へ自動的に日付・時刻が転送されます。 転送されなかったときは、あらためて手動で設定し直してください（☞42ページ）。

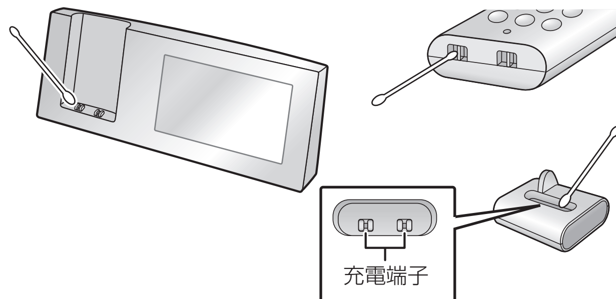
お手入れのしかた

本体や子機を清掃する

お手入れには、乾いた柔らかい布をお使いください。汚れがひどいときは、水にひたしてよくしぼった布で清掃してください。そのあと水分が残らないように乾いた布でからぶきしてください。

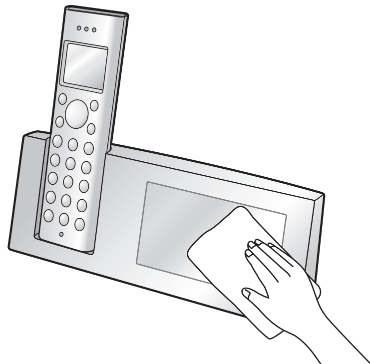


充電端子が汚れたときは、綿棒などで清掃します。汗などがついて充電できなくなることがあるため、手で触らないようにしてください。



液晶ディスプレイ（タッチパネル）を清掃する

キーロック設定をしてください（☞47ページ）。
液晶ディスプレイ（タッチパネル）は乾いた柔らかい布（眼鏡ふきなど）で清掃してください。傷が付くことがありますので、お手入れに目の粗い布は使用しないでください。



＜お知らせ＞

- アルコール、ベンジン、シンナーなど、揮発性のものは使わないでください。変色、変形、変質や故障の原因になります。

エラー表示／エラー音について

＜表示例＞

お知らせやエラーメッセージを表示します。



お知らせ／エラー表示

	表示／エラー音	対応	参照ページ
か行	**子機使用中です**	● 子機を使用中です。子機の使用が終わるまでお待ちください。	－
	子機を増設します。子機の操作を行ってください。	● 本体が子機増設登録モードになっています。 ● 子機増設登録操作中は、外線着信を含む他の操作を行うことはできません。子機を増設しないときはそのまま、この表示が消えるまでお待ちください（約30秒で子機増設モードは解除されます）。	51 －
さ行	**自動応答中**	● 留守モード中に電話がかかってきたときや、各種お断りに設定している相手先から電話がかかってきているときなどに、応答メッセージが流れて自動応答しています。	－

こまったときは

	表示／エラー音	対応	参照ページ
た行	着信がありました	● 留守中などにかかってきた電話があります。［お知らせ］をタッチして確認してください。	40
は行	保存中にエラーが発生したため、保存を中止します。	● 内部メモリーへのアクセス中に内部エラーが発生しました。もう一度やり直してください。	―
ま行	メッセージがあります	● 留守中にあった新しいメッセージや、未再生のメッセージがあります。再生してください。	33
ら行	録音できません。データを消去してください。 録音できる時間が残りわずかです	● 不要な録音メッセージを消去します。	34、67

子機を使っているとき

表示／エラー音	対応	参照ページ
シヨウチュウ	● 本体の使用中です。使用が終わるまでお待ちください。	―
シンチャク アリ	● 未再生の留守録音があります。本体または子機を操作して、再生してください。	33
ジドウオウトウチュウ	● 留守モードなどで、応答メッセージが流れて自動応答しています。	32
ケンガイ	● 本体の差し込みプラグを接続してください。 ● 他の電化製品などの電波が干渉しています。電波干渉の発生しやすいところでは使用しないでください。 ● 本体からの電波が届く範囲でご使用ください。 ● （ボタン）を押すと表示が消えて使えるようになることがあります。	14 7 ― ―
「オヤキケンサクチュウ」と表示するまたは「ピーピー」と鳴る	● 本体や増設子機が使用中です。 ● 本体のACアダプターを接続してください。 ● 他の電化製品などの電波が干渉しています。電波干渉の発生しやすいところでは使用しないでください。 ● 本体からの電波が届く範囲でご使用ください。 ● 子機の充電池のコネクターを抜き差ししてください。	― 14 7 ― 17

表示／エラー音	対応	参照ページ
「ピピピピ」	● 名前の文字数や日時登録の設定などが登録範囲を超えています。	－
「ピ ピ ッ …… ピピッ……」	● 充電部に子機を戻して充電してください。約1分後に電話は切れますので、通話を止めて充電部に戻してください。 ● 長時間充電しても、すぐに子機が使えなくなるときは、新しい充電池と交換してください。	18 66
子機で通話中に「ピーピー」と2回鳴ってすぐに切れる	● 雑音の少ないところでご使用ください。 ● 無線LANなどの近くでお使いのときは、それらの機器よりできるだけ離してお使いください。また「回避チャンネル設定」を変更してお使いください。	－ 68

故障かな？と思ったときは（修理依頼される前に）

・液晶ディスプレイ表示が化けている（意味不明の文字列や画像が表示されている）。
・液晶ディスプレイ画面が反応しない、タッチに正しく反応しない。
・その他、正しく動作しない。

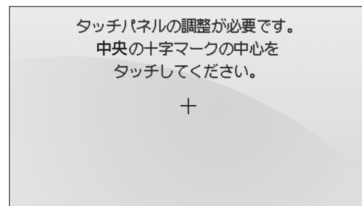
上記のような症状の多くは、一般に、マイコン（IC）を使用している機器が、大きな外来ノイズにより誤動作することで発生します。
修理やアフターサービスをお申し付けになる前に、右記の操作をお試しください。

また、登録・設定した内容により、お客様の意図しない機能が働いている場合、工場出荷時の状態に戻すことで、症状が改善することがあります（☞67ページ）。

■ 本体の電源を入れ直す

ACアダプターを電源コンセントから抜いてもう一度差し込んでみてください。

・タッチパネルの確認をします。
調整が必要なときは、以下のような画面が表示されます。調整が完了するまで画面の指示に従ってタッチしてください。



・本体の日付・時刻の設定は消えます。
子機が電波の届く範囲にあり、日付・時刻が設定されていれば、自動的に日付・時刻が転送されます。
転送されなかったときは、あらためて手動で設定してください。

電源を入れ直しても症状の改善がみられない場合、または症状が再三発生する場合は、シャープお客様ご相談窓口（☞72ページ）へお申し付けください。

■ 子機の充電池のコネクターを抜き差しする

子機の充電池のコネクターを抜いてもう一度接続してみてください（☞17ページ）。

・子機の日付・時刻の設定は消えます。
本体が電波の届く範囲にあり、日付・時刻が設定されていれば、自動的に日付・時刻が転送されます。
転送されなかったときは、あらためて手動で設定してください。

別売品／消耗品

別売品／消耗品として、次のものを用意しています。
このインテリアホンを長い間安心してお使いいただくためにも、当社の純正品や推奨品をお使いください。なお、価格などは予告なく変更することがありますので、ご了承ください。別売品／消耗品のご注文は、お買いあげの販売店へお申し付けください。

品名	形名	部品コード	流通コード	希望小売価格
子機用充電池※ **（ニッケル水素電池）**	M-224	UBATM2248SCZZ	142 932 0087	1,890円（税抜価格1,800円）

※ シャープエンジニアリング（株）扱い

品名	形名	希望小売価格
増設子機（☞51ページ）	JD-KS17	16,800円（税抜価格16,000円）
	JD-KS18	16,800円（税抜価格16,000円）

種類	部品コード	流通コード	希望小売価格
延長コード（モジュラープラグ付き）			
5ｍ（2芯）（白）	QCNWG0121AFSA	142 512 0331	535円（税抜価格510円）
10ｍ（2芯）（白）	QCNWG0122AFSA	142 512 0332	819円（税抜価格780円）

＜お知らせ＞
● 希望小売価格は2010年2月現在のものです。

登録や設定・電話帳の内容を初期化する

登録・設定した内容を工場出荷時に戻したり、電話帳に登録した内容をすべて消去することができます。

本機を廃棄、譲渡などするときは

お客様の個人情報流出による被害を防ぐために、本体の「データ消去」と子機の「登録初期化」の操作を行って、本機に記録したデータを消去することをおすすめします。
本体のデータは、「本体初期化」で一括して消去することもできます。

■ 本体の登録や設定の内容を工場出荷時に戻す（本体初期化）

本体初期化をすると登録・設定した内容の他に、留守録などの録音、内部メモリーの写真データがすべて工場出荷時の内容に戻ります（消去されます）。

① 画面をタッチしてホームメニューにし、〔設定〕をタッチする
② 〔特別設定〕→ 次ページキー（∨）2回の順にタッチする
③ 〔本体初期化〕→〔はい〕の順にタッチする

■ 内部メモリーのファイルをすべて消去する（データ消去）

① 画面をタッチしてホームメニューにし、〔設定〕をタッチする
② 〔特別設定〕→ 次ページキー（∨）→〔データ消去〕の順にタッチする
③ 消去したいデータを選ぶ
〔電話帳〕〔メッセージデータ〕〔着信記録／再ダイヤル〕〔お断り番号〕〔フォトデータ〕が選べます。
④ 〔はい〕をタッチする

■ 設定の内容だけを工場出荷時に戻す（設定リセット）

各設定を工場出荷時に戻します。電話帳、メッセージなどの録音、内部メモリーの写真データはそのまま残ります。

① 画面をタッチしてホームメニューにし、〔設定〕をタッチする
② 〔特別設定〕→ 次ページキー（∨）の順にタッチする
③ 〔設定リセット〕→〔はい〕の順にタッチする

■ 電話帳以外の子機の登録内容を、お買いあげ時の状態にする

① 子機の 決定（メニュー） を押す
② （∧∨） で〔システムセッテイ〕を選び、決定（メニュー） を押す
③ （∧∨） で〔トウロク ショキカ〕を選び、決定（メニュー） を押す
④ （∧∨） で〔デンワチョウイガイ〕を選び、決定（メニュー） を２回押す

■ 子機を工場出荷時に戻す（登録初期化）

① 子機の 決定（メニュー） を押す
② （∧∨） で〔システムセッテイ〕を選び、決定（メニュー） を押す
③ （∧∨） で〔トウロク ショキカ〕を選び、決定（メニュー） を押す
④ （∧∨） で〔スベテノトウロク〕を選び、決定（メニュー） を２回押す

■ 子機の電話帳をすべて消去する

① 子機の 決定（メニュー） を押す
② （∧∨） で〔ゼンショウキョ〕を選び、決定（メニュー） を押す
③ （∧∨） で〔デンワチョウ〕を選び、決定（メニュー） を2回押す

＜お知らせ＞

● 本体初期化や設定リセットをしたあと自動的に回線種別の設定を行います。電話などをかけられるときは、回線種別の設定（約20秒）が終わってからかけてください。

特別設定について

状況に応じて、次の項目を本体で設定することができます。

■ キータッチ音

本体の画面をタッチしたときに鳴る、「ピッ」という音（キータッチトーン）の有無を設定できます。
工場出荷時の設定は［あり］です。
① 画面をタッチしてホームメニューにし、［設定］をタッチする
② ［特別設定］➞［キータッチ音］の順にタッチする
③ ［あり］［なし］から設定したい内容を選ぶ

■ 回避チャンネル設定

他の電化製品（無線LANなど）の電波干渉などによって、通話に雑音が入るときは、設定を変更すると改善されることがあります。
他の電化製品（無線LANなど）が使用しているチャンネルを設定してください。設定したチャンネルを回避します。
工場出荷時の設定は［チャンネル6］です。
① 画面をタッチしてホームメニューにし、［設定］をタッチする
② ［特別設定］➞［回避チャンネル設定］の順にタッチする
③ ［チャンネル1］［チャンネル6］［チャンネル11］から設定したい内容を選ぶ
● 無線LANを使用している場合、無線LANが使用しているチャンネルを回避することで、通話品質が改善されることがあります。

■ ナンバー・ディスプレイ（☞52ページ）

■ キャッチホン・ディスプレイ（☞51ページ）

■ キャッチホン切替時間

キャッチ/カナボタンを押したときに回線を開放する時間を設定できます。交換機の種類などによっては、キャッチ/カナボタンを押したときに電話が切れてしまうことがあります。こんなときは、キャッチホン切替時間を短く設定します。
工場出荷時の設定は［0.8秒］です。
① 画面をタッチしてホームメニューにし、［設定］をタッチする
② ［特別設定］➞［キャッチホン切替時間］の順にタッチする
③ ［0.4秒］［0.6秒］［0.8秒］から設定したい内容を選ぶ

■ 子機増設（☞51ページ）

■ 本体に登録されている日付や時刻を子機に転送する（子機へ時計転送）

本体で操作します。
本体の日時が登録されていないときは、転送できません。
① 画面をタッチしてホームメニューにし、［設定］をタッチする
② ［特別設定］➞ 次ページキー（ ⌄ ）の順にタッチする
③ ［子機へ時計転送］をタッチする
● 子機を2台以上お使いのときは、子機番号の1から順番に転送します。
● 対応していない子機を増設した場合は、日付や時刻は転送されません。

■ 子機に登録されている日付や時刻を本体に転送する（子機から時計転送）

本体で操作します。
子機の日時が登録されていないときは、転送できません。
① 画面をタッチしてホームメニューにし、［設定］をタッチする
② ［特別設定］➞ 次ページキー（ ⌄ ）の順にタッチする
③ ［子機から時計転送］をタッチする
● 本体に日付や時刻を転送する子機は、子機番号の1です。ただし、子機1が使用範囲外にあるなど、転送できない場合は、子機2から転送されます。すべての子機が転送できないときは、転送せずに終了します。

■ 内部メモリー使用容量

① 画面をタッチしてホームメニューにし、［設定］をタッチする
② ［特別設定］➞ 次ページキー（ ⌄ ）の順にタッチする
③ ［内部メモリー使用容量］をタッチする
● 内部メモリーは、各項目別々に記録されています。

■ データ消去（☞67ページ）

■ ソフトウェア更新

ソフトウェアの更新については、詳しくは当社のホームページでご確認ください。

■ 設定リセット（☞67ページ）

■ 本体初期化（☞67ページ）

仕様

外観・仕様は予告なしに変更することがあります。

■ 本体

形名	JD-4C1CL／JD-4C1CW
使用回線	一般加入電話回線、NCC回線
表示装置	4.3インチカラー TFT液晶ディスプレイ（480 × 272 ドット）＊1 タッチパネル（シングルタッチ方式）
メモリーカードスロット	SD／SDHC／MS／MS-PRO兼用1スロット

■ コードレス部（子機）

充電完了時間	約10時間
使用可能時間（充電完了後）	待受時：最大約150時間＊2 通話時：最大約5時間＊3
表示装置	液晶ディスプレイ カナ2行＋ピクト
増設可能子機	JD-KS17,JD-KS18

■ 電話部

	本体	子機
ダイヤル形式	ボタン式パルスダイヤル／ボタン式トーンダイヤル	
選択信号種別	DP信号（10PPS／20PPS）／PB信号（DTMF）	
呼び出し方式	―	トーンリンガー（着信音） 呼び出し／（音量切替式）
電話帳の件数	100人分 （32桁以内）×1番号	100人分 （24桁以内）×1番号
再ダイヤルの記憶件数	20件	10件

■ デジタルフォトフレーム部

内部メモリー	最大64MB
対応ファイル	JPEG（Exif規格）

■ メモリーカード

対応カード種類	SDメモリーカード、miniSD／microSDカード ＊4、 SDHC メモリーカード miniSDHC／microSDHC メモリーカード ＊4、 メモリースティック、メモリースティック PRO メモリースティック Duo／マイクロ／PRO Duo／PRO-HG Duo ＊4

■ 留守録部

用件録音時間	最大約10分、または30件

■ 共通部

	本体	子機	充電器
寸法	約225（幅）× 約87（奥行）× 約168（高さ）mm（子機装着時、突起部含む） 約225（幅）× 約87（奥行）× 約86（高さ）mm（本体のみ、突起部含む）	約48（幅）×約16（奥行）×約162（高さ）mm	約77（幅）×約65（奥行）×約42（高さ）mm
質量	約 380g （ACアダプター含まず）	約112g 充電池含む	約53g
電源	AC100V±10V 50／60Hz（ACアダプターを使用）	DC2.4V、500mAh （ニッケル水素電池）＊5	入力：AC100V±10V 50／60Hz
消費電力（100VAC）	約2.7W（待機時）＊6 約4.0W（動作時最大）		約0.5W（子機を充電器に乗せた状態での待機時） 約1.2W（急速充電中）
直流抵抗	283Ω	―	―
静電容量	1.0μF以下	―	―
使用環境	温度 5℃～35℃ 相対湿度 30％～85％RH		

＊1 液晶ディスプレイは非常に精密度の高い技術でつくられていますが、画素欠けや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。
＊2 待受時とは、充電完了後、子機を充電部に置かずに、一度も通話しない状態のことです。通話したり、着信音が鳴ったりすると待受時の使用可能時間は短くなります。
＊3 「電波サポート」を〔セッテイ〕にした場合は、子機の連続通話時間が最大約4時間になります。また、〔ジドウ〕にした場合は、最大約4～5時間になります。
＊4 本機で使用するときは、それぞれのカードに付属しているアダプター、または市販のカードアダプターが必要です。
＊5 充電池はリサイクル可能なニッケル水素電池です。使用済み電池につきましては、お買いあげの販売店までご持参いただき、リサイクルの推進にご協力をお願いします。
＊6 バックライトおよび液晶ディスプレイ消灯時。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

保証書（☞82～83ページ）

● 保証期間は、お買いあげの日から１年間です。
保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

補修用性能部品の保有期間

● 当社は、インテリアホンの補修用性能部品を製品の製造打切後、７年保有しています。
● 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

不明な点や修理に関するご相談は

● 修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買いあげの販売店またはシャープお客様ご相談窓口（☞72ページ）にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは　持込修理

●「こまったときは」（☞57～65ページ）を調べてください。
それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず差し込みプラグを抜いて充電池をはずしてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って当社が修理させていただきます。

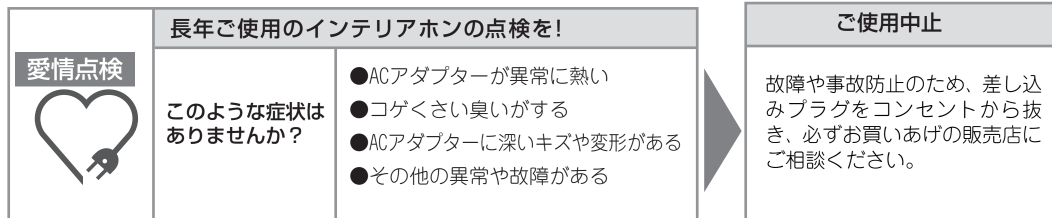
保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料金（出張修理の場合）で構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。



お客様ご相談窓口のご案内

修理・お取扱い・お手入れについての「ご相談」ならびに「ご依頼」および、万一、製品による事故が発生した場合は、お買いあげの販売店または下記窓口にお問い合わせください。

電話番号をお確かめのうえ、お間違いのないようにおかけください。
お電話では、次の内容をお知らせください。
・「品名（インテリアホン）」、「形名（JD-4C1CLまたはJD-4C1CW）」
・必要に応じて、本機の使用環境をお尋ねします。（例：お使いの電話回線の回線種別、IP電話やひかり電話などをお使いかどうか、NTTのナンバー・ディスプレイをご契約されているかどうか）
ファクス送信される場合は、製品の品名、形名やお問い合わせ内容のご記入をお願いいたします。

■よくあるご質問などはパソコンから検索できます。  パソコン  シャープ　お問い合わせ　検索

http://www.sharp.co.jp/support/



使い方や修理のご相談

【お客様相談センター】



0120 - 663 - 700
携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

受付時間
●月曜～土曜：9:00～18:00
●日曜・祝日：9:00～17:00
（年末年始を除く）

■IP電話などからフリーダイヤルサービスをご利用いただけない場合は…

東日本相談室	〒261-8520　千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2
電話：043 - 351 - 1822	FAX：043 - 299 - 8280
西日本相談室	〒581-8585　大阪府八尾市北亀井町3-1-72
電話：06 - 6792 - 1583	FAX：06 - 6792 - 5993

●電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。（2010.2）

さくいん

【アルファベット・数字】

【あ】

【か】

【さ】

ご参考に

【た】

【な】

【は】

【ま】

【や】

【ら】

メ　モ

本機の使用周波数に関わるご注意

切り取って、本体や充電器の近くに貼ってお使いください。

本機の使用周波数に関わるご注意

本機の使用周波数帯では、以下の機器や設備が運用されています。

●電子レンジ、産業・科学・医療用機器など

●工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）

●特定小電力無線局（免許を要しない無線局）

●アマチュア無線局（免許を要する無線局）

- 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本機から移動体識別用の構内無線局、または特定小電力無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合には、お客様ご相談窓口（フリーダイヤル 0120-663-700）にご連絡ください。

●その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、お客様ご相談窓口（フリーダイヤル 0120-663-700）にご連絡ください。



メ　モ

メ　モ

メ モ

■よくあるご質問などはパソコンから検索できます。 ▶▶▶ パソコン  シャープ お問い合わせ 検索 

http://www.sharp.co.jp/support/

こんなときは、取扱説明書で再度ご確認ください。

●お買いあげ後の接続や設定のしかた（☞14ページ）

●電話がかからないときは（回線種別の設定 ☞17ページ）

●ナンバー・ディスプレイサービス、キャッチホン・ディスプレイサービスに関するお問い合わせ、お申し込み先
NTT窓口 TEL：局番なしの 116 （通話料金無料）

●電話帳に登録するときは（☞22ページ）

取扱説明書をご確認いただいても解決しないときは、72 ページをご覧いただき、お客様相談センターへご連絡ください。

シャープ株式会社

本社 〒545-8522 大阪市阿倍野区長池町22番22号
通信システム事業本部 〒739-0192 東広島市八本松飯田2丁目13番１号

Printed in China
JD-4C1CL/JD-4C1CW 11B⑥ TINSJ4721SCZB